

科目名	総合科目Ⅰ～Ⅵ	開講単位数
担当講師名	大場 博幸	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	ガイダンス		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月13日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月13日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	本の紹介		
		1-2	論文してはならない3原則		
第2章	レポートの書き方①	2-1	原稿用紙の使い方		
		2-2	資料の調べ方・探し方		
第3章	レポートの書き方②	3-1	「辞典・事典・用語集」で言葉集め		
		3-2	読んでもらうためのレポートの構造		
理解度チェック1					
第4章	中身よりみた目		導入		○学修期間 4章～8章 5月14日～5月23日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	レイアウトと表記法		
		4-2	みた目の文章配置		
第5章	わかりやすい文章にする3原則	5-1	無限半切の原則		
		5-2	重複禁止の原則		
		5-3	執拗通読の原則		
		5-4	まとめ		
第6章	文献・資料の集め方①	6-1	二つの文献検索法		
		6-2	「やみくも・いもづる・ねらい打ち」文献資料収集		
		6-3	価値ある文献の見極め方		
第7章	文献・資料の集め方②	7-1	Amazonのサイトで検索		
		7-2	GeNiiのサイトで検索		
		7-3	国立国会図書館のサイトで検索		
		7-4	NACSIS Webcatのサイトで検索		
		7-5	その他のサイトで検索		
第8章	文献・資料の整理方法	8-1	文献コピーの整理と読み方		
		8-2	ノートよりもカード		
		8-3	重要なデータは分散して保存		
理解度チェック2					
第9章	論文(卒論)の執筆手順		導入	○学修期間 9章～10章 5月24日～6月11日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月11日までです 。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		9-1	卒論執筆計画の立て方		
		9-2	論構成と章構成の方策		
第10章	注釈・引用・参考文献の示し方	10-1	近年限による引用文・注釈の示し方		
		10-2	注釈と引用・参考文献の章末・巻末での表記		
理解度チェック3					
第11章	論文論(よい論文とは)		導入	○学修期間 11章～12章は開講最終日まで受講が可能です。6月12日～6月24日がレポート試験提出期間になりますので、注意してください。	
		11-1	よい文の3原則		
		11-2	わかりやすい文の書き方		
		11-3	よい論文の3原則		
第12章	瀬戸際のテクニック	12-1	締め切りまでに書く		
		12-2	書式・論構成のテクニック		
		12-3	「あいまいさ」を求めて		
		12-4	大学で学ぶ意味		
試 験				○「試験」 レポート試験は6月25日～7月2日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	総合科目Ⅰ～Ⅵ	開講単位数
担当講師名	鍋本 由徳	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりま す ので十分注意してください。	
第1章	本講義を学習するにあたって		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	講義のねらいと各章の構成		
		1-2	日本大学の特色		
		1-3	日本大学の現況		
			自己点検		
第2章	日本大学120年の歩み I		導入		
		2-1	創立前後		
		2-2	専門学校の認可		
		2-3	大学令による大学に		
		2-4	総合大学への礎		
		2-5	創立五十年と太平洋戦争		
	自己点検				
第3章	日本大学120年の歩み II		導入		
		3-1	戦後教育改革と日本大学		
		3-2	新制日本大学の発足		
		3-3	高度経済成長と日本大学		
		3-4	高学歴社会と日本大学		
		3-5	国際化・情報化時代と日本大学		
			自己点検		
理解度チェック1					
第4章	日本法律学校の誕生		導入		○学修期間 4章～6章 5月11日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	日本の近代化と法典整備		
		4-2	近代法教育の開始		
		4-3	日本法律学校の創立		
		4-4	創立に携わった人々ー学祖と創立者ー		
			自己点検		
第5章	明治期の学園風景		導入		
		5-1	創立期の学園生活		
		5-2	山田顕義の死去と廃校問題		
		5-3	日本法律学校から日本大学へ		
			自己点検		
第6章	大学令と日本大学		導入		
		6-1	大学令の公布と日本大学		
		6-2	教育組織の整備拡充		
		6-3	関東大震災と復興への努力		
		6-4	日本大学と学生		
			自己点検		
理解度チェック2					
第7章	戦時体制下の学徒		導入	○学修期間 7章～9章 5月25日～6月7日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		7-1	報国団と勤労動員		
		7-2	学び舎からの出征		
	自己点検				
第8章	第8章 高度経済成長と大学の大衆化		導入		
		8-1	日本大学振興策の推進		
		8-2	学生の動向		
			自己点検		
第9章	大学紛争とその後の日本大学		導入		
		9-1	日大紛争		
		9-2	紛争後の学園生活		
			自己点検		
		理解度チェック3			
第10章	日本大学とスポーツ・文化活動		導入	○学修期間 10章～12章 6月8日～6月21日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月21日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-1	日本大学と体育・スポーツ活動		
		10-2	特色ある日大スポーツ		
		10-3	日本大学と文化活動		
			自己点検		
第11章	活躍する日大人		導入		
		11-1	独学者に法曹の道を開いた澤野民治		
		11-2	歯科医学界の先覚者 佐藤運雄		
		11-3	日本航空界の父 木村秀政		
		11-4	地球再発見による人間性の回復へ 写真家白川義員		
			自己点検		
第12章	通信教育部の歩み		導入		
		12-1	明治・大正期の通信教育		
		12-2	通信教育部の創設		
		12-3	通信教育の整備・拡充		
		12-4	おわりに		
			自己点検		
理解度チェック4					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月22日～6月29日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月30日～7月3日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	歴史学	開講単位数
担当講師名	高綱 博文・須江 隆・粕谷 元・舟橋 正真	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

	章番号	章名	項番号	項名	受講期間
		表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
	導入(教員紹介)	講座概要説明 教員紹介		講座概要説明 教員紹介	
舟橋先生	1～3章導入			(導入)イントロダクション	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
	第1章	明治天皇－国民の父として－		導入	
			1-1	国民とともに	
			1-2	青年天皇の維新	
			1-3	皇帝として・国父として	
			1-4	「国母」皇后とともに	
			1-5	明治のおわりに	
	第2章	乃木希典 一戦没者家族の涙とともに－		導入	
			2-1	殉死	
			2-2	家族の恩愛を断ち切る	
			2-3	旅順攻防戦のはてに	
			2-4	日露戦後の日々	
			2-5	軍神として	
	第3章	石田伝吉－理想の村を求めて－		導入	
			3-1	農村改良の自給伝道者	
			3-2	明治20年代の若者	
			3-3	弱き人々への眼差し	
3-4			『理想之村』		
3-5			「大御心」のうちに		
理解度チェック1					
粕谷先生	4～6章導入			(導入)イントロダクション	○学修期間 4章～6章 5月12日～5月25日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
	第4章	ムスタファ・ケマル・アタテュルク －トルコの「文明化」のために－		導入	
			4-1	「永遠なる」指導者	
			4-2	救国の英雄から国父へ	
			4-3	世俗主義と文明化＝西洋化＝世俗化の論理	
			4-4	トルコ共和国の西洋化・世俗化	
	第5章	ベディユズザマン・サイド・ヌルスィー －世俗化に抗して－		導入	
			5-1	オスマン帝国のイスラーム改革派知識人・活動家として	
			5-2	世俗主義体制下でのヌルスィーと『リサーレイ・ヌル』	
			5-3	『リサーレイ・ヌル』の思想	
			5-4	死後の一つのエピソード	
	第6章	セイイド・ベイトルコの宗教改革？－		導入	
			6-1	西洋近代の学問と思想に通じたイスラーム法学者	
			6-2	カリフ制の廃止とセイイド・ベイ	
			6-3	「トルコの」イスラーム？	
			6-4	世俗化とイスラームの相克	
	理解度チェック2				
高綱先生	7～9章導入			(導入)イントロダクション	○学修期間 7章～9章 5月26日～6月8日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月8日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。
	第7章	岸田吟香・荒尾精－東亜同文書院の源流－		導入	
			7-1	東亜同文書院とは	
			7-2	日中民間交流の先駆者・岸田吟香	
			7-3	荒尾精と漢口楽善堂	
			7-4	貿易立国論と日清貿易研究所	
	第8章	内山完造の中国社会体験		導入	
			8-1	日中友好の架け橋－内山完造・みき	
			8-2	内山完造の中国社会体験	
			8-3	内山完造の中国社会論	
			8-4	「上海人」としての内山完造	
	第9章	上海日本人引揚者たちのノスタルジー		導入	
			9-1	上海引揚者たち	
			9-2	引揚者の子供たちの上海ノスタルジー	
			9-3	上海ノスタルジーの流行	
			理解度チェック3		
	須江先生	10～12章導入			
第10章		蘇舜欽－乱痴気騒ぎのつけ		(導入)蘇舜欽と進奏院	
			10-1	事件の経緯	
			10-2	事件の真相	
			10-3	事件の原因	
			10-4	宋代の官僚社会	
第11章		方臘－宋王朝を震撼させた男		(導入)徽宗時代と方臘	
			11-1	方臘の乱の経緯	
			11-2	方臘の乱に関する言説	
			11-3	方臘の乱に関する言説の分布	
			11-4	北宋末期以降の社会	
第12章		「林二十三娘－神となった巫女」		(導入)林二十三娘と中国史上の女性	
			12-1	「マંション白紙 代わりに神様」	
			12-2	「媽祖廟」とそのルーツ	
			12-3	「媽祖廟」信仰の拡大と展開	
			12-4	祠廟と華人社会	
理解度チェック4					
試 験				○試験 リポート試験は6月23日～6月30日までが、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の7月1日～3日の間は全章の復習期間にしてください。	

法学 MA メディア授業計画

科目名	法学MA	単位
担当 教員名	松島 雪江・小野 健太郎・川又 伸彦	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、16章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期間を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	なぜ法を学ぶのか	1節	主権者自らが学ぶ-治外法権に関する問題がある-	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期間は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2節	法を育む方法 -「人間とは何か」を知る-		
		3節	-人間の成長と法律上の扱い、法育の取り組み-		
		4節	法学を学ぶ意味 -くり返し学ぶ価値-		
		5節	法学を学ぶ意義 -他の学問分野からも学ぶ-		
第2章	法と強制		法の目的は何か		
		1節	法律は社会規範である		
		2節	行為規範について、法律と道徳が比較される		
		3節	法律は要件と効果からなる		
		4節	刑罰の特色を強制という点で捉える		
		5節	死刑存廃論の理論的究極		
		6節	伝統法学における4つの社会規範と「世間」との関係		
第3章	法と道徳	7節	「世間」は社会規範課		
		1節	法の目的		
		2節-1	社会規範としての法 その1		
		2節-2	社会規範としての法 その2		
		3節	憲法問題		
第4章	法の歴史	4節	法的制裁と道徳的制裁		
		1節	社会あるところに法あり、不文法・成文法ローマ・カノン法、法の継受		
		2節	近代法の成立		
		3節	日本における近代法の継受		
第5章	法源	4節	大日本帝国憲法から日本国憲法へ		
		1節-1	法源とは何かその1		
		1節-2	法源とは何かその2		
		2節-1	法源の種類と特徴 その1		
		2節-2	法源の種類と特徴 その2		
		2節-3	法源の種類と特徴 その3		
		2節-4	法源の種類と特徴 その4		
理解度チェック1					
第6章	法の構造	2節-5	法源の種類と特徴 その5 法源論の問題点		
		1節	様々な法(法と法律)、法の段階的構造、現代法学の諸分野		
		2節	法の分類(公法、私法、社会法)		
		3節-1	法の様態 その1		
		3節-2	法の様態 その2		
第7章	法の適用と解釈	4節	法の規範的役割		
		1節	予見(予測)可能性の確保と裁判システムへの信頼		
		2節-1	法の三段論法と事実認定 その1		
		2節-2	法の三段論法と事実認定 その2		
		3節-1	法の解釈 その1		
第8章	法の効力	3節-2	法の解釈 その2		
		1節	なぜ実定法と自然法の区別が必要か		
		2節	刑法学はなぜ自然法を採るか		
		3節	刑事手続き上の柔軟性		
		4節-1	刑法解釈の柔軟性 その1		
		4節-2	刑法解釈の柔軟性 その2		
第9章	法的思考	5節	遡及処罰の禁止		
		1節	法的な問題解決 裁判		
		2節-1	「議論の場」としての裁判 その1		
		2節-2	「議論の場」としての裁判 その2		
第10章	法の現代的展開	3節	法的思考を養うということ		
		1節-1	法の機能とその変容 その1		
		1節-2	法の機能とその変容 その2		
		2節	法化問題 介入主義的法の増加		
		3節-1	法的パターナリズム、法的モラリズム その1		
理解度チェック2					
		3節-2	法的パターナリズム、法的モラリズム その2		

科目名	政治学	開講単位数
担当講師名	関根 二三夫	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙		表紙	○本講座は4つのパートに分かれており、それぞれのパートは3つの章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	政治学の変遷		(導入)政治学の変遷	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月12日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	古代	
		1-2	中世	
		1-3	近世	
		1-4	近代	
		1-5	第1章 自己点検	
第2章	政治の概念と本質		(導入)政治の概念と本質	
		2-1	政治の概念	
		2-2	政治の本質	
		2-3	第2章 自己点検	
第3章	政治権力		(導入)政治権力	
		3-1	政治権力の概念	
		3-2	政治権力の構造	
		3-3	権力の客体(被治者)	
		3-4	支配の手段	
		3-5	支配の形態	
		3-6	第3章 自己点検	
理解度チェック1				
第4章	国家		(導入)国家	
		4-1	国家の概念	
		4-2	国家の成立要素	
		4-3	国家の分類	
		4-4	第4章 自己点検	
第5章	議会政治		(導入)議会政治	
		5-1	議会政治の原理	
		5-2	行政監督の手段	
		5-3	議会の構成 - 一院制 -	
		5-4	議会の構成 - 二院制 -	
		5-5	第5章 自己点検	
第6章	立法府と行政府		(導入)立法府と行政府	
		6-1	議院内閣制の形態と特徴	
		6-2	大統領制	
		6-3	アメリカ合衆国の大統領制	
		6-4	第6章 自己点検	
理解度チェック2				
第7章	選挙		(導入)選挙	
		7-1	選挙とは	
		7-2	選挙制度について	
		7-3	選挙の種類	
		7-4	第7章 自己点検	
第8章	選挙区の画定と代表		(導入)選挙区の画定と代表	
		8-1	選挙区の画定	
		8-2	選挙区制について	
		8-3	代表選出の形態	
		8-4	第8章 自己点検	
第9章	政党		(導入)政党	
		9-1	政党の誕生	
		9-2	政党の概念と特徴	
		9-3	政党の発展過程	
		9-4	政党の分類	
		9-5	第9章 自己点検	
理解度チェック3				
第10章	政党の機能と問題点		(導入)政党の機能と問題点	
		10-1	政党の機能	
		10-2	政党の問題点	
		10-3	第10章 自己点検	
第11章	圧力団体		(導入)圧力団体	
		11-1	圧力団体の概念	
		11-2	圧力団体の発生	
		11-3	圧力団体の活動	
		11-4	第11章 自己点検	
第12章	政治と行政		(導入)政治と行政	
		12-1	政治と行政との関係	
		12-2	資本主義の発達と大衆社会との関係	
		12-3	議会政治の変転と行政国家	
		12-4	政治と行政との関係 -アメリカの例-	
		12-5	政治・行政関連論	
		12-6	第12章 自己点検	
理解度チェック4				
試 験				○試験 レポート試験は6月24日～7月1日まで が、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月2日～7月3日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	経済学	開講単位数
担当講師名	前野 高章	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	経済学とは何か		講義内容説明	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	導入	
		1-2	経済学とはどのような学問か	
		1-3	経済現象と稀少性の法則	
第2章	経済学の研究の進め方		導入	
		2-1	経済学の方法	
		2-2	経済学の分野	
第3章	資本主義経済と社会主義経済		導入	
		3-1	資本主義経済と社会主義経済	
		3-2	混合経済(修正資本主義)	
理解度チェック1				
第4章	消費者の行動基準		導入	○学修期間 4章～6章 5月11日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	財の効用(主観的評価)について	
		4-2	限界効用均等の法則と選択行動	
第5章	無差別曲線と消費者余剰の法則		導入	
		5-1	消費と代替	
		5-2	限界効用と価格の決定および消費者余剰の法則	
第6章	所得・価格と需要変化の関係		導入	
		6-1	消費性向・貯蓄性向	
		6-2	消費と需要の価格弾力性	
理解度チェック2				
第7章	財の所得効果・代替効果		導入	○学修期間 7章～9章 5月25日～6月7日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	財の価格変化と所得効果、代替効果	
		7-2	依存効果	
第8章	生産函数		導入	
		8-1	生産者行動とその基準	
		8-2	生産函数	
第9章	等量曲線・生産費の理論		導入	
		9-1	等量曲線	
		9-2	生産費の理論	
理解度チェック3				
第10章	平均費用・限界費用と最適生産量		導入	○学修期間 10章～12章 6月8日～6月21日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月21日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	短期	
		10-2	長期	
第11章	生産者余剰と限界生産力均等の法則		導入	
		11-1	生産者余剰	
		11-2	限界生産力均等の法則	
第12章	最大利潤と個別供給曲線		導入	
		12-1	最大利潤	
		12-2	個別供給曲線・社会的供給曲線	
理解度チェック4				
試 験				○試験 レポート試験は6月22日～6月29日まで が、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月30日～7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	心理学	開講単位数
担当講師名	池見 正剛	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	心理学の定義と歴史		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	心理学の定義		
		1-2	心理学の歴史		
			自己点検		
第2章	現代心理学のアプローチ		導入		
		2-1	科学的方法とは		
		2-2	自然観察		
		2-3	調査		
		2-4	相関的研究		
		2-5	実験(因果関係)		
			自己点検		
第3章	心の生物学的基礎		導入		
		3-1	神経細胞		
		3-2	中枢神経系		
			自己点検		
理解度チェック1					
第4章	感覚Ⅰ		導入	○学修期間 4章～7章 5月11日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		4-1	感覚様相の共通属性		
		4-2	感度を測る方法と実際		
		4-3	感覚符号化と符号化の方法		
		4-4	視覚		
			自己点検		
第5章	感覚Ⅱ	5-1	聴覚		
		5-2	嗅覚		
		5-3	味覚		
		5-4	触覚		
			自己点検		
第6章	知覚Ⅰ		導入		
		6-1	知覚とは何か		
		6-2	注意		
		6-3	知覚的体制化と定位		
			自己点検		
第7章	知覚Ⅱ	7-1	認識		
		7-2	抽象化		
		7-3	知覚の恒常性		
			自己点検		
理解度チェック2					
第8章	発達		導入		○学修期間 8章～12章 5月25日～6月21日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月21日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	発達とは何か		
		8-2	発達の一般的特徴		
		8-3	身体の発達		
		8-4	運動機能の発達		
		8-5	新生児の発達		
		8-6	ピアジェの発達段階理論		
		8-7	人格と社会性の発達		
		8-8	青年期の心理		
			自己点検		
第9章	記憶Ⅰ		導入		
		9-1	記憶を考える上での3つの視点		
		9-2	感覚記憶		
		9-3	作業記憶		
			自己点検		
第10章	記憶Ⅱ	10-1	作業記憶から長期記憶への情報の転送		
		10-2	長期記憶		
		10-3	感情と記憶		
		10-4	潜在記憶		
		10-5	多様な記憶機構		
			自己点検		
第11章	知識の表象(1)－知覚的表現－		導入		
		11-1	空間的表象vs順序的表象		
		11-2	メンタルイメージ		
		11-3	順序的表象		
			自己点検		
第12章	知識の表象(2)－意味的表現－		導入		
		12-1	言語的情報の記憶		
		12-2	知覚的・意味的表象の保持		
		12-3	命題的表象		
		12-4	スキーマ		
			自己点検		
理解度チェック3					
試 験				○「試験」 試験は6月22日～6月29日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月30日～7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	英語 I	開講単位数
担当講師名	猪野 恵也	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 報告課題は期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
Part1	品詞及び句と節		導入	○学修期間 1章～6章 4月26日～5月25日までに学修及び報告課題1を受けて下さい。 ○「報告課題1」 解答期限は5月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	文法 品詞	
		1-2	文法 句と節	
Part2	文型		導入	
		2-1	文法 第1文型	
		2-2	文法 第2文型	
		2-3	文法 第3文型	
		2-4	文法 第4文型	
		2-5	文法 第5文型	
Part3	不定詞と動名詞		導入	
		3-1	文法 不定詞の用法	
		3-2	文法 動名詞の用法	
Part4	分詞		導入	
Part5	分詞構文		導入	
		5-1	文法 分詞構文の用法	
Part6	関係詞		導入	
		6-1	文法 関係代名詞	
		6-2	文法 関係副詞	
報告課題1				
Part7	GOODBYE,MY BROTHER(1)		導入	
		7-1	読解 Paragraph1	
		7-2	読解 Paragraph2	
		7-3	読解 Paragraph3	
		7-4	読解 Paragraph4	
		7-5	読解 Paragraph5	
		7-6	読解 Paragraph6	
		7-7	読解 Paragraph7	
		7-8	読解 Paragraph8	
		7-9	読解 Paragraph9	
Part8	GOODBYE,MY BROTHER(2)		導入	
		8-1	読解 Paragraph1	
		8-2	読解 Paragraph2	
		8-3	読解 Paragraph3	
		8-4	読解 Paragraph4	
		8-5	読解 Paragraph5	
		8-6	読解 Paragraph6	
		8-7	読解 Paragraph7	
Part9	GOODBYE,MY BROTHER(3)		導入	
		9-1	読解 Paragraph1	
		9-2	読解 Paragraph2	
		9-3	読解 Paragraph3	
		9-4	読解 Paragraph4	
		9-5	読解 Paragraph5	
		9-6	読解 Paragraph6	
		9-7	読解 Paragraph7	
		9-8	読解 Paragraph8	
Part10	GOODBYE,MY BROTHER(4)		導入	
		10-1	読解 Paragraph1	
		10-2	読解 Paragraph2	
		10-3	読解 Paragraph3	
		10-4	読解 Paragraph4	
		10-5	読解 Paragraph5	
		10-6	読解 Paragraph6	
		10-7	読解 Paragraph7	
		10-8	読解 Paragraph8	
		10-9	読解 Paragraph9	
		10-10	読解 Paragraph10	
		10-11	読解 Paragraph11	
		10-12	読解 Paragraph12	
Part11	GOODBYE,MY BROTHER(5)		導入	
		11-1	読解 Paragraph1	
		11-2	読解 Paragraph2	
		11-3	読解 Paragraph3	
		11-4	読解 Paragraph4	
		11-5	読解 Paragraph5	
Part12	GOODBYE,MY BROTHER(6)		導入	
		12-1	読解 Paragraph1	
		12-2	読解 Paragraph2	
		12-3	読解 Paragraph3	
		12-4	読解 Paragraph4	
		12-5	読解 Paragraph5	
		12-6	読解 Paragraph6	
報告課題2				
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後7月1日～7月3日の間は全章の復習期間にしてください。

英語ⅡMA 授業計画

科目名	英語Ⅱ	開講単位数
担当講師名	鈴木 孝	1

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	テキスト 1ページ目から2ページ6行目まで		導入	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月12日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	関係代名詞・他		
		1-2	前置詞＋関係代名詞・他		
		1-3	受動態・他		
		1-4	分詞の用法・他		
			自己点検		
第2章	テキスト 2ページ7行目から3ページ11行目まで		導入		
		2-1	It の用法・他		
		2-2	前置詞と接続詞・他		
		2-3	等位接続詞・他		
		2-4	分詞の用法・他		
			自己点検		
第3章	テキスト 3ページ12行目から4ページ6行目まで		導入		
		3-1	省略・他		
		3-2	自動詞と他動詞・他		
		3-3	It の用法・他		
		3-4	強調構文・他		
			自己点検		
第4章	テキスト 4ページ7行目から5ページ11行目まで		導入		
		4-1	分詞の用法・他		
		4-2	挿入句・他		
		4-3	to 原型動詞の用法・他		
		4-4	等位接続詞・他		
			自己点検		
理解度チェック1					
第5章	テキスト 5ページ12行目から6ページ25行目まで		導入	○学修期間 5章～7章 5月13日～5月26日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-1	関係代名詞・他		
		5-2	従属接続詞・他		
		5-3	知覚動詞・他		
		5-4	強調構文・他		
			自己点検		
第6章	テキスト 6ページ26行目から8ページ4行目まで		導入		
		6-1	関係代名詞・他		
		6-2	分詞の用法・他		
		6-3	使役動詞・他		
		6-4	修辭疑問文・他		
			自己点検		
第7章	テキスト 8ページ5行目から9ページ13行目まで		導入		
		7-1	形容詞句と副詞句・他		
		7-2	whatの用法・他		
		7-3	動名詞・他		
		7-4	to 原型動詞の用法・他		
			自己点検		
理解度チェック2					
第8章	テキスト 9ページ14行目から10ページ26行目まで		導入		○学修期間 8章～10章 5月27日～6月9日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	関係代名詞・他		
		8-2	to 原型動詞の用法		
		8-3	分詞の用法・他		
		8-4	等位接続詞・他		
			自己点検		
第9章	テキスト 11ページ1行目から12ページ2行目まで		導入		
		9-1	時制・他		
		9-2	be 動詞の進行形・他		
		9-3	挿入句・他		
		9-4	to 原型動詞の用法		
			自己点検		
第10章	テキスト 12ページ3行目から13ページ13行目まで		導入		
		10-1	等位接続詞・他		
		10-2	分詞の用法・他		
		10-3	自動詞と他動詞・他		
		10-4	関係代名詞・他		
			自己点検		
理解度チェック3					
第11章	テキスト 13ページ14行目から14ページ27行目まで		導入	○学修期間 11章～12章 6月10日～6月23日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		11-1	It の用法・他		
		11-2	分詞の用法・他		
		11-3	分詞の用法・他		
		11-4	関係代名詞・他		
			自己点検		
第12章	テキスト 14ページ28行目から16ページ3行目まで		導入		
		12-1	知覚動詞・他		
		12-2	受動態・他		
		12-3	関係副詞・他		
		12-4	動名詞・他		
			自己点検		
理解度チェック4					
試 験					○「試験」 レポート試験は6月24日～7月1日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート					試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間					試験終了後の7月2日～3日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語Ⅲ	開講単位数
担当講師名	真野 一雄	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
Part1	FORGETTING(1)		導入	○学修期間 1章～6章 4月26日～5月26日までに学修及び報告課題1を受けて下さい。 ○「報告課題1」 解答期限は5月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	読解	
Part2	FORGETTING(2)		導入	
		2-1	読解	
Part3	FORGETTING(3)		導入	
		3-1	読解	
Part4	FORGETTING(4)		導入	
		4-1	読解	
Part5	FORGETTING(5)		導入	
		5-1	読解	
Part6	FORGETTING(6)		導入	
		6-1	読解	
報告課題1				
Part7	KNOWLEDGE AND WISDOM(1)		導入	○学修期間 7章～12章 5月27日～7月1日までに学修及び報告課題2を受けて下さい。 ○「報告課題2」 解答期限は7月1日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	読解	
Part8	KNOWLEDGE AND WISDOM(2)		導入	
		8-1	読解	
Part9	KNOWLEDGE AND WISDOM(3)		導入	
		9-1	読解	
Part10	KNOWLEDGE AND WISDOM(4)		導入	
		10-1	読解	
Part11	KNOWLEDGE AND WISDOM(5)		導入	
		11-1	読解	
Part12	KNOWLEDGE AND WISDOM(6)		導入	
		12-1	読解	
報告課題2				
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月2日～3日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語Ⅳ	開講単位数
担当講師名	市川 泰弘	1

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			<p>○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、報告課題は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。</p>
第1章	Making Friends at College(1)		導入	<p>○学修期間 1章～6章 4月26日～5月24日までに学修及び報告課題1を受けて下さい。</p> <p>○「報告課題1」 解答期限は5月24日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。</p>
		1-1	基本的な動詞の使い方[1]	
第2章	Making Friends at College(2)	2-1	パラグラフの基本	
第3章	My Frantic Day(1)		導入	
		3-1	基本的な動詞の使い方[2]	
第4章	My Frantic Day(2)	4-1	時間軸でパラグラフを構成する	
第5章	Time Is Not Money(1)		導入	
		5-1	動詞＋名詞句の使い方[1]	
第6章	Time Is Not Money(2)	6-1	重要度の順でパラグラフを構成する	
報告課題1				
第7章	Tokyo Disney Resort(1)		導入	<p>○学修期間 7章～12章 5月25日～6月29日までに学修及び報告課題2を受けて下さい。</p> <p>○「報告課題2」 解答期限は6月29日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。</p>
		7-1	動詞＋名詞句の使い方[2]	
第8章	Tokyo Disney Resort(2)	8-1	空間秩序でパラグラフを構成する	
第9章	Overseas Travel(1)		導入	
		9-1	間違いやすい動詞の使い方[1]	
第10章	Overseas Travel(2)	10-1	メインアイデアを補う:個人的な経験を利用する	
第11章	Sugar Blamed for Increased Obesity Worldwide(1)		導入	
		11-1	間違いやすい動詞の使い方[2]	
第12章	Sugar Blamed for Increased Obesity Worldwide(2)	12-1	メインアイデアを補う:事実と引用を利用する	
報告課題2				
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後6月30日～7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語基礎	開講単位数
担当講師名	小澤 賢司	1

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
				○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	「品詞」と「文法」	1	受講上の注意点／「品詞」と「文法」	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	中高で習う品詞&文法／『4大品詞』	
		3	「形容詞」と「副詞」	
		4	まとめ／Questions and Answers (1)	
第2章	動名詞	1	「動名詞」とは	
		2	具体例	
		3	「動名詞」が含まれる熟語	
		4	英文読解(Sushi)／英文法に対する注意点	
第3章	前置詞	1	「前置詞」とは	
		2	場所を表す「前置詞」と時を表す「前置詞」	
		3	「前置詞」が備えているイメージ	
		4	まとめ	
第4章	不定詞 その1	1	「不定詞」とは(日本語にない品詞を学ぶときの意識)	
		2	〈名詞的用法〉	
		3	訳にとらわれないように！	
		4	「不定詞」vs.「動名詞」	
		5	Questions and Answers (2)	
第5章	不定詞 その2	1	〈形容詞的用法〉	
		2	〈副詞的用法〉	
		3	「不定詞」まとめ	
		4	英文読解(Dream 1)／英文読解(Dream 2)	
		5	英文読解(Dream 3)	
理解度チェック1				
第6章	辞書に関するあの話この話	1	(紙の)辞書と電子辞書／おすすめの辞書	○学修期間 6章～10章 5月15日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	「あたり」を付けて調べる！	
		3	実践(1)	
		4	実践(2)	
		5	実践(3)	
第7章	分詞	1	「分詞」とは	
		2	具体例	
		3	「分詞」の注意点	
		4	「分詞」の選択	
第8章	動名詞 vs. 現在分詞	1	見た目が同じ「動名詞」と「分詞」	
		2	出現位置から判断する！	
		3	意味から判断する！	
		4	英文読解(English in Japan)	
第9章	不定詞の応用	1	応用(1) (It is ... to do)	
		2	応用(2) (疑問詞+to do)	
		3	応用(3) (tell/ask/want 人 to do)	
		4	応用(4) (too ... to do)	
		5	英文読解(I know ...)／英文読解(Don't waste ...)	
		6	Questions and Answers (3)	
第10章	発音に関するあの話この話	1	「カタカナ」英語をやめよう！	
		2	どうすれば良いのか	
		3	練習	
		4	ローマ字表記には気をつけよう！	
理解度チェック2				
第11章	接続詞	1	「等位接続詞」と「従位接続詞」	○学修期間 11章～15章 5月25日～6月25日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	「等位接続詞」	
		3	「従位接続詞」(1)	
		4	「従位接続詞」(2)	
		5	命令文とand/or／時・条件の接続詞／時制の一致	
第12章	関係代名詞 その1	1	「関係代名詞」とは	
		2	「関係代名詞」の使い方・ポイント	
		3	主格・所有格・目的格の「関係代名詞」	
		4	「関係代名詞の選択」／「関係代名詞that」	
第13章	関係代名詞 その2	1	「関係代名詞」の修飾範囲	
		2	具体例	
		3	前回の練習問題解答	
		4	省略可能な「関係代名詞」	
		5	〈名詞修飾〉を使いこなそう！	
第14章	助動詞	1	「助動詞」とは／〈元来の意味〉と〈派生した意味〉	
		2	Will	
		3	Can／過去形には注意せよ！	
		4	May	
		5	Must／Should	
第15章	英語を使おう！	1	インターネットを利用して英語を使ってみよう！	
		2	利用するサイトの説明(1)	
		3	利用するサイトの説明(2)	
		4	利用するサイトの説明(3)	
		5	利用するサイトの説明(4)	
理解度チェック3				
試 験				○「試験」 試験は6月26日～7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	保健体育講義 I	開講単位数
担当講師名	高橋正則／水落文夫	1

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、8章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	現代社会と健康	1	授業について、現代社会の特徴	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	肥満とは	
		3	生活習慣病と運動不足病①	
		4	生活習慣病と運動不足病②、健康の概念と新たな健康づくり	
第2章	コミュニケーションスキル	1	コミュニケーションについて	
		2	コミュニケーションスキル	
		3	コミュニケーションスキルを高めるためのポイント	
		4-1	コミュニケーションスキルを高めるための具体例①	
		4-2	コミュニケーションスキルを高めるための具体例②	
第3章	体力の概念	4-3	コミュニケーションスキルを高めるための具体例③	
		1	体力の概念	
		2-1	行動体力①	
		2-2	行動体力②	
第4章	オリンピズム	3	防衛体力	
		4	体力トレーニングの必要性、トレーニングの原則	
		1	オリンピズムとは、オリンピックの歴史①	
		2	オリンピックの歴史②	
		3	近代オリンピック①	
		4	近代オリンピック②、オリンピックの価値	
		理解度チェック1		
第5章	運動・スポーツの効果　－スポーツの功罪－	1	身体活動の捉え方	○学修期間 5章～8章 5月15日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	身体活動不足の弊害	
		3	運動による心理的効果、スポーツの功罪	
第6章	運動による疲労　－疲れることの機能－	1	疲労の実態	
		2	疲労のメカニズム	
		3	疲労のもう一つの機能	
第7章	休養の実態と意義　－睡眠を見直す－	1	睡眠の機能	
		2	睡眠と睡眠不足の状態	
		3	衛生上望ましい睡眠	
		4	積極的休養(アクティブレスト)のすすめ	
第8章	運動学習　－技能習得のコツ－	1	運動能力を支えるもの	
		2	運動学習を促進する要因(動機づけ)	
		3	運動学習を促進する要因(学習方略)	
理解度チェック2				
試　　験			○「試験」 レポート試験は5月25日から6月14日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート			試験終了後～6月14日がアンケート回答期間になります。	
復習期間			試験終了後の6月15日～7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	憲法	開講単位数
担当講師名	天野 聖悦	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	憲法		導入	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	憲法の概念	
		1-2	憲法の分類	
		1-3	憲法の特質	
第2章	日本憲法史―1		導入	
		2-1	明治憲法の成立	
		2-2	明治憲法の構造と特色	
第3章	日本憲法史―2		導入	
		3-1	ポツダム宣言の受諾	
		3-2	日本国憲法制定の経過	
		3-3	日本国憲法制定の法理	
第4章	日本国憲法の基本原理		導入	
		4-1	日本国憲法の前文	
		4-2	日本国憲法の基本原理	
理解度チェック1				
第5章	天皇―1		導入	○学修期間 5章～6章 5月11日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	天皇の地位	
第6章	天皇―2		導入	
		6-1	皇位継承	
		6-2	天皇の権能	
		6-3	皇室の経済	
理解度チェック2				
第7章	基本的人権―1		導入	○学修期間 7章～9章 5月25日～6月7日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	人権総論	
第8章	基本的人権―2		導入	
		8-1	法の下での平等	
第9章	基本的人権―3		導入	
		9-1	精神的自由	
理解度チェック3				
第10章	基本的人権―4		導入	○学修期間 10章～12章 6月8日～6月21日までに学修及び理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月21日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	経済的自由	
		10-2	人身の自由	
第11章	基本的人権―5		導入	
		11-1	社会権	
第12章	基本的人権―6		導入	
		12-1	国務請求権	
		12-2	参政権	
		12-3	国民の義務	
理解度チェック4				
試 験				○試験 レポート試験は6月22日～6月29日まで が、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月30日～7月3日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	民法Ⅱ	開講単位数
担当講師名	根本 晋一	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
	講義用ディスカッションボード			
第1章	物権法を学ぶにあたって —民法とはどのような法律か—	1-1	物権法を学ぶ	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月12日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	民法典はどのような構成となっているのか	
		1-3	受講に際して	
第2章	物権法総論① —序説—	2-1	社会生活と財産権	
		2-2	物権の特質	
第3章	物権法総論② —物権の効力—		導入(はじめに)	
		3-1	序説	
		3-2	物権の優先的効力	
		3-3	物権的請求権	
		3-4	物権的請求権の種類とその内容	
第4章	物権法総論③ —物権の種類と物権法定主義—	3-5	物権的請求権と費用の負担者	
		4-1	物権法定主義(第175条)	
		4-2	物権の種類と第175条に関する解釈論	
理解度チェック 1				○学修期間 5章～11章 5月13日～5月26日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第5章	物権法総論④ —物権の変動—		導入(はじめに)	
		5-1	総説	
		5-2	物権変動における「公示の原則」と「公信の原則」	
		5-3	動産と不動産とはどうして取扱いが異なるのか	
第6章	物権法総論⑤ —不動産の物権変動と公示(対抗要件)—	5-4	物権変動を生じる法律行為	
			導入(はじめに)	
		6-1	不動産の物権変動と登記(第177条)	
第7章	物権法総論⑥ —登記がなければ対抗することができない物権変動—	6-2	第177条における第三者の範囲	
			導入(はじめに)	
第8章	物権法総論⑦ —登記制度と登記に関する諸問題①—	7-1	法律行為による物権変動	
		7-2	復帰的物権変動と登記	
			導入(はじめに)	
		8-1	不動産登記とは何か	
		8-2	登記簿の編成	
第9章	物権法総論⑧ —登記制度と登記に関する諸問題②—	8-3	表示に関する登記と権利に関する登記	
		8-4	記載内容による分類	
		8-5	登記の申請についての諸原則	
			導入(はじめに)	
第10章	物権法総論⑨ —動産の物権変動と公示(対抗要件)—	9-1	登記請求権	
		9-2	中間省略登記	
		9-3	登記の有効要件	
		9-4	仮登記	
		9-5	短期賃借権	
		9-6	まとめ	
第11章	物権法総論⑩ —即時取得に関する諸問題—		導入(はじめに)	
		10-1	動産の物権変動と第176条	
		10-2	動産の物権変動と引渡(第178条)	
第12章	物権法各論① 占有権(その1)		導入(はじめに)	
		11-1	動産と不動産の特色と取引	
		11-2	即時取得制度の意義	
		11-3	即時取得の要件1	
		11-4	即時取得の要件2	
		11-5	即時取得の要件3	
第13章	物権法各論② 占有権(その2)	11-6	即時取得の効果	
			導入(はじめに)	
		12-1	占有権の種類について	
			導入(はじめに)	
		13-1	占有訴権について	
第14章	物権法各論③ 所有権(その1)		導入(はじめに)	
		14-1	所有権の概念	
		14-2	所有権の性質	
		14-3	所有権の制限	
		14-4	所有権の取得	
第15章	物権法各論④ 所有権(その2)	14-5	相隣関係について	
			導入(はじめに)	
		15-1	共有制度について	
理解度チェック 3				○「試験」 レポート試験は6月24日から7月1日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
試 験				
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月2日～3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	刑法Ⅰ	開講単位数		
担当講師名	野村 和彦	2		

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番合	章名	節番合	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	犯罪の成立要件	1	犯罪論の課題	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2	事例と問題の所在		
		3	事例をもとにした検討		
		4	段階的に捉える犯罪論の意味		
			自己点検		
第2章	構成要件の全体像	1	犯罪類型は刑法上の分類の成果		
		2	構成要件の要素と論点		
			自己点検		
第3章	不作為犯	1	作為反と不作為犯		
		2	不真正不作為犯の成立要件		
		3	ひき逃げ犯罪の分類		
		4	不作為の共同正犯		
			自己点検		
第4章	因果関係の課題	1	因果関係の有無で構成要件が定まる		
		2	因果関係が問題となる場合		
		3	条件関係		
		4	因果関係の断絶		
			自己点検		
第5章	相当因果関係説	1	相当因果関係説		
		2	因果関係の錯誤		
		3	簡単な答案例		
			自己点検		
		理解度チェック1			
第6章	故意犯	1	故意犯の位置づけ	○学修期間 6章～11章 5月15日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2	故意犯と過失犯の区別		
		3	刑法上の錯誤		
			自己点検		
		1	具体的事実の錯誤		
第7章	事実の錯誤	2	法廷的符合説と具体的符合説		
		3	抽象的事実の錯誤		
		4	抽象的事実の錯誤で故意犯が認められる場合		
			自己点検		
		1	過失犯の課題		
第8章	過失犯の構造	2	過失犯としての処罰		
		3	過失犯の構造		
			自己点検		
		1	過失犯の成立要件		
		第9章	過失犯の成立要件		2
3	強制起訴された福島原発				
4	21世紀刑法学の役割				
	自己点検				
1	未遂犯は構成要件の拡張形式				
第10章	未遂犯	2	犯罪の遂行段階		
		3	既遂の時期		
		4	未遂犯(障害未遂)		
			自己点検		
		1	中止犯は構成要件か		
第11章	中止犯	2	中止犯の立法理由		
		3	中止犯の要件・効果		
		4	中止犯と共同正犯		
			自己点検		
		理解度チェック2			
第12章	共犯と単独犯	1	共犯関係が構成要件を明らかにする	○学修期間 12章～15章 5月25日～6月25日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2	共犯の意義と種類		
		3	共同正犯・教唆犯・幫助犯の基礎的な区別		
		4	間接正犯、同時犯		
			自己点検		
第13章	共同正犯	1	共同正犯の要件		
		2	共謀共同正犯		
		3	承継的共同正犯		
		4	過失犯の共同正犯		
			自己点検		
第14章	教唆犯・幫助犯	1	狭義の共犯の処罰根拠		
		2	教唆犯		
		3	幫助犯		
		4	共犯の因果性		
			自己点検		
第15章	身分犯と共犯	1	身分犯は構成要件を明らかにする		
		2	65条1項・2項の解釈		
		3	共犯と錯誤		
		4	構成要件該当性のまとめ		
			自己点検		
理解度チェック3					
試 験					○「試験」 レポート試験は6月26日～7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート					試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間					試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。

刑法ⅡMA メディア授業計画

科目名	刑法Ⅱ	開講単位数
担当講師名	設楽 裕文	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	序－刑法Ⅱ(とくに個人的法益に対する罪)を学ぶにあたって 生命・身体に対する罪(Ⅰ)	1－1～2	授業について 刑法Ⅰとの関係、刑法Ⅱの体系と学び方	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	生命・身体に対する罪総説	
		3	殺人の罪	
		4－1～2、5	傷害の罪、過失傷害の罪	
			自己点検	
第2章	生命・身体に対する罪(Ⅱ) 自由に対する罪(Ⅰ)	1	堕胎の罪	
		2－1～2	遺棄の罪	
		3～4	逮捕及び監禁の罪、脅迫の罪	
		5－1～2	略取、誘拐及び人身売買の罪	
			自己点検	
第3章	自由に対する罪(Ⅱ) 私生活の平穏に対する罪	1－1～2	強制わいせつ罪、強制性交等の罪	
		2－1～2	住居を侵す罪	
		3	秘密を侵す罪	
			自己点検	
第4章	名誉に対する罪	1	名誉に対する罪総説	
		2	名誉毀損罪	
		3	事実の証明、侮辱罪	
			自己点検	
第5章	信用及び業務に対する罪	1	信用及び業務に対する罪総説、信用毀損罪	
		2	業務妨害罪 1	
		3	業務妨害罪 2	
			自己点検	
理解度チェック1				
第6章	財産に対する罪(Ⅰ) 総説 窃盗及び強盗の罪(1)	1	財産に対する罪総説	○学修期間 6章～10章 5月15日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2－1～2	財物と財産上の利益	
		3－1～2、4	財産に対する罪と占有、不法領得の意思	
		5～7	窃盗及び強盗の罪総説、窃盗罪、不動産侵奪罪、親族間の犯罪に関する特例	
			自己点検	
第7章	財産に対する罪(Ⅱ) 窃盗及び強盗の罪(2)	1－1	強盗罪 1	
		1－2	強盗罪 2	
			自己点検	
		第8章	財産に対する罪(Ⅲ) 窃盗及び強盗の罪(3)	
2	昏睡強盗罪			
3	強盗致死傷罪			
4	強盗強姦罪、強盗・強制性交等の罪、強盗予備罪			
	自己点検			
第9章	財産に対する罪(Ⅳ) 詐欺及び恐喝の罪(1)	1	詐欺の罪総説	
		2－1～3	詐欺罪概説	
		3	詐欺罪と強盗罪	
		4～6	キセル乗車、クレジットカード不正利用、誤振込み	
			自己点検	
第10章	財産に対する罪(Ⅴ) 詐欺及び恐喝の罪(2)	1	電子計算機使用詐欺罪、準詐欺罪	
		2	恐喝罪	
		3－1～3、4	相当な対価の提供と詐欺罪・恐喝罪、不法原因給付と詐欺罪・恐喝罪	
		5～8	権利行使と詐欺罪・恐喝罪、詐欺行為と恐喝行為の競合、因果的連関、銀行口座への送金	
			自己点検	
理解度チェック2				
第11章	財産に対する罪(Ⅵ) 横領・背任の罪(1)	1	横領の罪総説	○学修期間 11章～15章 5月25日～6月25日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2－1～2	横領罪	
		3～4	業務上横領罪、遺失物等横領罪	
		5	親族間の犯罪に関する特例(親族である後見人による横領)	
			自己点検	
第12章	財産に対する罪(Ⅶ) 横領・背任の・罪(2)	1	背任の罪総説	
		2	背任罪	
			自己点検	
第13章	財産に対する罪(Ⅷ) 横領・背任の罪(3)	1－1～2	横領罪・背任罪の共犯	
		2	横領と背任の区別	
		3	不動産の二重処分と横領罪・背任罪	
			自己点検	
第14章	財産に対する罪(Ⅸ) 盗品等に関する罪	1－1～3	盗品等に関する罪総説	
		2	盗品等に関する罪各説	
		3	親族等の間の犯罪に関する特例	
			自己点検	
第15章	財産に対する罪(Ⅹ) 毀棄及び隠匿の罪 個人的法益に対する罪まとめ	1	毀棄及び隠匿の罪総説	
		2－1	毀棄及び隠匿の罪各説 1	
		2－2	毀棄及び隠匿の罪各説 2	
		3	個人的法益に対する罪のまとめ	
			自己点検	
理解度チェック3				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月26日から7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	国際政治学／国際政治論／国際政治学概論	開講単位数	※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。
担当講師名	柑本 英雄	2	

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	国際関係論はどのような学問なのか1 (テキスト第1章前半)	1	ガイダンス	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	(導入)テキスト第1章の学びの目的、国際関係論の学び方	
		3	国際関係論の研究領域とその特徴	
第2章	国際関係論はどのような学問なのか2 (テキスト第1章後半)	1	国際関係研究の基本的枠組み	
		2	歴史分析における3つの仮説	
		3	テキスト第1章のまとめ	
第3章	国際関係理論とは何か1 (テキスト第8章前半)	1	(導入)テキスト第8章の学びの目的、国際関係における理論	
		2	国際関係の理論の背景 アナーキー	
		3	国際関係理論の歴史	
第4章	国際関係理論とは何か2 (テキスト第8章後半)	1	リアリズム	
		2	リベラリズム	
		3	コンラクティヴィズム	
		4	テキスト第8章のまとめ	
第5章	国際レジーム論とグローバル・ガバナンス論1 (テキスト第9章前半)	1－1	(導入)テキスト第9章の学びの目的、国際レジーム論①	
		1－2	国際レジーム論②	
		2	グローバル・ガバナンス論の現在	
理解度チェック1				○学修期間 6章～10章 5月15日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第6章	国際レジーム論とグローバル・ガバナンス論2 (テキスト第9章後半)	1－1	国際レジームとグローバル・ガバナンスは平和を実現するのか①	
		1－2	国際レジームとグローバル・ガバナンスは平和を実現するのか②	
		2－1	国際関係理論の新展開①	
		2－2	国際関係理論の新展開②	
		3	テキスト第9章のまとめ	
第7章	20世紀の国際関係をどう理解するのか1 (テキスト第2章前半)	1－1	(導入)テキスト第2章の学びの目的、第一次世界大戦から第二次世界大戦へ①	
		1－2	第一次世界大戦から第二次世界大戦へ②	
		1－3	第一次世界大戦から第二次世界大戦へ③	
		2	第一次世界大戦から第二次世界大戦へ④、米ソ冷戦時代の国際関係①	
		3	米ソ冷戦時代の国際関係②	
第8章	20世紀の国際関係をどう理解するのか2 (テキスト第2章後半)	1－1	米ソ冷戦時代の国際関係③	
		1－2	米ソ冷戦時代の国際関係④	
		2	ポスト冷戦時代の国際関係の特徴	
		3	20世紀を振り返る、テキスト第2章のまとめ	
第9章	今日の国際関係をどう読むのか1 (テキスト第3章前半)	1－1	(導入)テキスト第3章の学びの目的、「文明の衝突？」時代の国際関係①	
		1－2	「文明の衝突？」時代の国際関係②	
		2－1	ポスト「9.11」時代の国際関係①	
		2－2	ポスト「9.11」時代の国際関係②	
第10章	今日の国際関係をどう読むのか2 (テキスト第3章後半)	1－1	オバマ政権成立後のアメリカ外交と国際関係①	
		1－2	オバマ政権成立後のアメリカ外交と国際関係②	
		2－1	自国第一の時代①	
		2－2	自国第一の時代②	
		3	テキスト第3章のまとめ	
理解度チェック2				○学修期間 11章～15章 5月25日～6月25日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第11章	グローバリゼーションの時代をどう読むのか1 (テキスト第4章前半)	1	(導入)テキスト第4章の学びの目的	
		2－1	グローバリゼーションの現象とその影響①	
		2－2	グローバリゼーションの現象とその影響②	
		3	グローバリゼーションの光と陰	
		4	いくつかの事例からの理解	
第12章	グローバリゼーションの時代をどう読むのか2 (テキスト第4章後半)	1－1	新自由主義的グローバリゼーションの対抗軸①	
		1－2	新自由主義的グローバリゼーションの対抗軸②	
		2	グローバリゼーションの理論的分析、テキスト第4章のまとめ	
第13章	南北問題をどう解決するのか1 (テキスト第11章前半)	1－1	(導入)テキスト第11章の学びの目的、考えるヒント	
		1－2	貧困とは「貧困」をはかる指標	
		2	南北問題と国際関係	
		3－1	今日の南北問題の課題①	
		3－2	今日の南北問題の課題②	
第14章	南北問題をどう解決するのか2 (テキスト第11章後半)	1－1	途上国問題と理論的枠組み	
		1－2	開発:国家から人間へ①	
		1－3	開発:国家から人間へ②	
		2－1	国連ミレニアム開発目標とその達成へ向けて①	
		2－2	国連ミレニアム開発目標とその達成へ向けて②、テキスト第11章のまとめ	
第15章	国際政治学MAのレビュー	1－1	国際関係理論のレビュー①	
		1－2	国際関係理論のレビュー②	
		2－1	国際政治の背景のレビュー①	
		2－2	国際政治の背景のレビュー②	
		2－3	国際政治の背景のレビュー③	
理解度チェック3				○「試験」 リポート試験は6月26日から7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
試 験				
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	政治学原論	単位
担当 教員名	荒井 祐介	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期間を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	政治とは何か	1節	(1)政治とは何か	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	(2)制御としての政治	
		3節	(3)権力としての政治	
			(4)闘争としての政治	
			(5)価値配分としての政治	
	(6)政治のさまざまな側面			
	自己点検			
第2章	伝統的政治学	1節	(1)古代ギリシアの原政治学	
		2節	(2)近代ヨーロッパの政治学	
		3節	(3)制度論的政治学	
		自己点検		
第3章	現代政治学(1) -リアリズムと□科学化の追求-	1節	(1)制度論からリアリズムへ その1	
		2節	(1)制度論からリアリズムへ その2	
		3節	(2)政治学の科学化を求めて その1	
		4節	(2)政治学の科学化を求めて その2	
		自己点検		
第4章	現代政治学(2) -行動論的政治学-	1節	(1)行動論的政治学の登場	
		2節	(2)行動論的政治学の特徴	
		3節	(3)行動論的政治学の成果	
		自己点検		
第5章	現代政治学(3) -脱行動論革命-	1節	(1)アメリカ社会の変動	
		2節	(2)脱行動論革命	
		3節	(3)脱行動論革命後のアメリカ政治学	
		自己点検		
理解度チェック1				
第6章	古典的民主主義と現代民主主義	1節	(1)民主主義とは何か	○学修期間 6章～10章 5月15日～5月24日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	(2)古典的民主主義	
		3節	(3)現代民主主義 その1	
		4節	(3)現代民主主義 その2	
		自己点検		
第7章	ポリアーキー	1節	(1)現実の民主主義体制	
		2節	(2)ポリアーキーとは何か その1	
		3節	(2)ポリアーキーとは何か その2	
		4節	(3)ポリアーキーへの経路	
		5節	(4)ポリアーキーの条件	
		(5)ポリアーキーの意義		
	自己点検			
第8章	多極共存型民主主義	1節	(1)民主主義が成立する社会的条件	
		2節	(2)多元的民主主義論への批判 その1	
		2節	(2)多元的民主主義論への批判 その2	
		3節	(3)多極共存型民主主義 その1	
		3節	(3)多極共存型民主主義 その2	
	(4)多極共存型民主主義の意義			
	自己点検			
第9章	多数決型民主主義と合意形成型民主主義	1節	(1)民主主義の2つのタイプ	
		2節	(2)民主主義の制度的相連のモデル化 その1	
		3節	(2)民主主義の制度的相連のモデル化 その2	
		4節	(3)民主主義の概念図	
		4節	(4)2つの民主主義モデルの意義	
		自己点検		
第10章	執政制度	1節	(1)執政制度とは何か	
		2節	(2)議院内閣制	
		3節	(3)大統領制	
		4節	(4)半大統領制	
		3節	(5)大統領制化の議論 その1	
		4節	(5)大統領制化の議論 その2	
	(6)大統領制化論の意義			
	自己点検			
理解度チェック2				

科目名	国語学概論	開講単位数	※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。
担当講師名	鈴木 功真	2	

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	言語と人間1, 特質と機能	1	ガイダンス	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2-1	人間の言語の特質①	
		2-2	人間の言語の特質②	
		3	言語の機能	
		4	まとめ、復習問題	
第2章	言語と人間2, 恣意性・学説・言語中枢	1	言語記号の恣意性	
		2	サピア・ウォーフ仮説	
		3	言語中枢	
		4	まとめ、復習問題	
第3章	日本語の音声・音韻1-1, 音声と音韻, 単音・音素	1	音声と音韻-言語音のとらえ方の違い	
		2	単音の分類	
		3	音素	
		4	補説 相補分布と音素	
		5	まとめ、復習問題	
第4章	日本語の音声・音韻1-2, 母音・母音の無声化・母音の音色の生成	1-1	母音①	
		1-2	母音②	
		1-3	母音③	
		1-4	母音④	
		2	母音の無声化	
		3	母音の音色の生成	
		4	まとめ、復習問題	
第5章	日本語の音声・音韻2-1, 音声器官・子音の基本事項	1	音声器官	
		2-1	子音(1)-基本事項①	
		2-2	子音(1)-基本事項②	
		2-3	子音(1)-基本事項③	
		3	まとめ	
理解度チェック1				
第6章	日本語の音声・音韻2-2・3-1, 子音・清濁・ハ行音・サ行音・「ヒ」と「シ」の混同・タ行音と四つ仮名・ガ行鼻濁音	1-1	子音(1)-基本事項④, 子音(2)-清濁①	
		1-2	子音(2)-清濁②, ハ行音の歴史的変遷①	
		2-1	ハ行音の歴史的変遷②	
		2-2	ハ行音の歴史的変遷③	
		3	サ行音の歴史的変遷, 「シ」と「ヒ」の混同	
		4	四つ仮名の問題(タ行子音の歴史的変遷)	
第7章	日本語の音声・音韻3-2, 拗音・合拗音・連濁・連声・語音の変化・上代特殊仮名遣	5	ガ行音の「ガ行鼻濁音」, まとめ	
		1-1	子音の拗音①	
		1-2	子音の拗音②	
		1-3	子音の拗音③, 合拗音	
		2	追加1 連声, 追加2 連濁	
		3	語音の変化	
第8章	日本語の音声・音韻4-1, 拍と音節・アクセント	4	補説 上代特殊仮名遣と上代8母音説	
		5	まとめ、復習問題(5～7章)	
		1-1	拍(モーラ)と音節(シラブル)	
		1-2	音韻と拍(モーラ)	
		1-3	拍(モーラ)の中の特殊拍	
		2-1	日本語の音韻の上での拍の一覧の作成①	
第9章	日本語の音声・音韻4-2, 共通語アクセント, プロミネンス, 日本語のリズム	2-2	日本語の音韻の上での拍の一覧の作成②	
		3-1	アクセントとその役割①	
		3-2	アクセントとその役割②, まとめ	
		1	アクセント観と表記	
		2-1	共通語アクセントのきまり	
		2-2	アクセントの特徴	
第10章	日本語の文字表記1-1, 特色	2-3	アクセントの型の対応	
		3-1	アクセント, プロミネンス, イントネーション	
		3-2	補説 日本語のリズム	
		4	まとめ、復習問題(8・9章)	
		1	日本語の表記の特色①	
		2-1	日本語の表記の特色②	
第11章	日本語の文字表記1-2, 表記の歴史	2-2	日本語の表記の特色③	
		3	日本語の表記の特色④	
		4	日本語の表記の特色⑤	
		5	漢字の将来, まとめ	
		1-1	文字と文字以前, 日本の文字表記のはじまり①	
		1-2	日本の文字表記のはじまり②	
第12章	日本語の文字表記2-1, 漢字の構造と音訓	1-3	日本の文字表記のはじまり③	
		2	まとめ、復習問題(10～11章)	
		1-1	漢字の構造と用法の拡張・転用①	
		1-2	漢字の構造と用法の拡張・転用②	
		2-1	漢字の音と訓①	
		2-2	漢字の音と訓②	
第13章	日本語の文字表記2-2 漢字の部首と送り仮名	2-3	漢字の音と訓③, まとめ	
		1-1	漢字の部首①	
		1-2	漢字の部首②	
		2	送り仮名	
		3	まとめ、復習問題(12・13章)	
		1-1	平仮名・片仮名①, ひらがな	
第14章	日本語の文字表記3-1, 仮名とローマ字	1-2	平仮名・片仮名②, ひらがな	
		2	平仮名・片仮名③, カタカナ	
		3	ローマ字, まとめ	
		1-1	現代仮名遣い①	
		1-2	現代仮名遣い②	
		1-3	現代仮名遣い③	
第15章	日本語の表記3-2, 現代仮名遣い	2	追加, 濁点と半濁点/アクセントの表記	
		3	まとめ、復習問題, 国語学概論MAのまとめ	
理解度チェック3				
試 験				
受講後アンケート				
復習期間				

試験	○「試験」 レポート試験は6月26日から7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	国文学講義Ⅴ(近代)	開講単位数
担当講師名	榎本 正樹	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	日本近代文学史の展望	1-1	(導入)「国文学講義Ⅴ(近代)」の学習目標と範囲	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	五箇条の御誓文(日本の近代化の出発=開化政策の出発点)	
		1-3	文学の近代化獲得の展開(文芸思潮・結社の展開)	
		1-4	第1章 自己点検	
第2章	明治初期の時代性と文学との関わり	2-1	(導入)時代背景と文学の関係	
		2-2	幕末維新から明治十年代にかけての開化政策について	
		2-3	「学制」公布と義務教育制度の発足	
		2-4	大新聞と小新聞の特色	
		2-5	第2章 自己点検	
第3章	政治小説の時代	3-1	(導入)大新聞の創刊を受けた展開	
		3-2	国会開設を目指す自由民権論と「政治小説」	
		3-3	第3章 自己点検	
第4章	「小説神髓」とその実践	4-1	(導入)「小説神髓」とその実践	
		4-2	「小説神髓」の時代	
		4-3	第4章 自己点検	
第5章	新体詩の移入・紹介	5-1	(導入)新体詩の移入・紹介	
		5-2	「新体詩抄」による新体詩の移入・紹介	
		5-3	第5章 自己点検	
理解度チェック1				
第6章	和歌史の概要	6-1	(導入)和歌史の概要	○学修期間 6章～7章 5月12日～5月25日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。
		6-2	和歌史の概要	
		6-3	近世和歌の展開	
		6-4	第6章 自己点検	
第7章	「御歌所」の設置	7-1	(導入)「御歌所」の設置	○「理解度チェック2」 解答期限は5月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-2	明治維新前後の和歌壇	
		7-3	「御歌所」の設置	
		7-4	第7章 自己点検	
理解度チェック2				
第8章	与謝野鉄幹の「亡国の音」	8-1	(導入)和歌の革新-与謝野鉄幹-	○学修期間 8章～9章 5月26日～6月8日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。
		8-2	「亡国の音」を読む	
		8-3	「亡国の音」の内容解説	
		8-4	第8章 自己点検	
第9章	与謝野鉄幹の実作活動	9-1	(導入)与謝野鉄幹の実作活動	○「理解度チェック3」 解答期限は6月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-2	「亡国の音」が目指したもの	
		9-3	東西南北から紫へ	
		9-4	『明星』創刊と鳳晶子の登場	
		9-5	晶子のその後と『明星』派歌人の活躍	
		9-6	第9章 自己点検	
理解度チェック3				
第10章	正岡子規の「歌よみに与ふる書」	10-1	(導入)正岡子規の「歌よみに与ふる書」	○学修期間 10章～12章 6月9日～6月22日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。
		10-2	「歌よみに与ふる書」～「再び」「三たび」「四たび」「五たび」	
		10-3	正岡子規の目指したもの	
		10-4	第10章 自己点検	
第11章	正岡子規の実践活動(短歌)	11-1	(導入)正岡子規の実践活動(短歌)	○「理解度チェック4」 解答期限は6月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-2	正岡子規の実作活動	
		11-3	その後のアララギの展開	
		11-4	第11章 自己点検	
第12章	正岡子規の俳句革新活動	12-1	(導入)俳句の近代化	
		12-2	俳句革新活動	
		12-3	正岡子規とその門下生の実作活動	
		12-4	結び	
		12-5	第12章 自己点検	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月23日～6月30日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月1日～3日の間は全章の復習期間にしてください。

イギリス文学史 I MA 授業計画

科目名	イギリス文学史 I	開講単位数
担当講師名	猪野 恵也	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	イントロダクション		導入(はじめに)	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	なぜ文学史を学ぶのか①		
		1-2	なぜ文学史を学ぶのか②		
		1-3	なぜ文学史を学ぶのか③		
			自己点検		
第2章	アングロ・サクソンの時代		導入(はじめに)		
		2-1	イギリスの始まり		
		2-2	キリスト教の伝来		
		2-3	『ベオウルフ』—最初の作品		
			自己点検		
第3章	中世時代の文学(1)		導入(はじめに)		
		3-1	中世のイギリス—内乱と疫病の時代		
		3-2	ラングランド『農夫ピアズの夢』		
		3-3	中世ロマンスの世界—アーサー王伝説		
			自己点検		
第4章	中世時代の文学(2)	4-1	チョーサー登場		
		4-2	チョーサーの『カンタベリー物語』		
		4-3	中世時代の詩と散文		
			自己点検		
		理解度チェック1			
第5章	ルネッサンス時代の文学(1)		導入(はじめに)		
		5-1	チューダー王朝とルネッサンスの幕開け		
		5-2	エドモンド・スペンサーと英詩の開花		
		5-3	ルネッサンス時代の散文作家たち		
			自己点検		
第6章	ルネッサンス時代の文学(2)	6-1	演劇の発展—神秘劇、道徳劇、幕間劇		
		6-2	シェイクスピア登場前の演劇		
		6-3	シェイクスピア登場		
			自己点検		
		第7章	ルネッサンス時代の文学(3)	7-1	初期のシェイクスピア
7-2	中期のシェイクスピア				
7-3	後期のシェイクスピア				
	自己点検				
理解度チェック2					
第8章	作品を読む<1>シェイクスピアを読む		導入(はじめに)		
		8-1	ソネットを読む		
		8-2	『ヴェニスの商人』より		
		8-3	『ハムレット』より		
			自己点検		
第9章	ルネッサンス時代の文学(4)		導入(はじめに)		
		9-1	ベン・ジョンソンの古典劇		
		9-2	ジョン・ウェブスターの『白い悪魔』など		
		9-3	その他の劇作家たちと劇場閉鎖へ		
			自己点検		
第10章	ピューリタン時代の文学(1)		導入(はじめに)		
		10-1	清教徒革命と共和制時代		
		10-2	ジョン・ミルトン「抒情詩の時代」		
		10-3	ジョン・ミルトン「散文の時代」		
			自己点検		
第11章	ピューリタン時代の文学(2)	11-1	ジョン・ミルトン「叙事詩の時代」(1)		
		11-2	ジョン・ミルトン「叙事詩の時代」(2)		
		11-3	ジョン・バニアン『天路历程』		
			自己点検		
		理解度チェック3			
第12章	17世紀の詩		導入(はじめに)		
		12-1	王党派詩人たちの詩を読む		
		12-2	形而上詩人(1)—ジョン・ダン		
		12-3	形而上詩人(2)—アンドリュー・マーヴェル		
			自己点検		
第13章	作品を読む<2>		導入(はじめに)		
		13-1	ミルトン『失楽園』を読む(1)		
		13-2	ミルトン『失楽園』を読む(2)		
			自己点検		
		第14章	作品を読む<3>	14-1	ダンを読む「別れの歌」
14-2	マーヴェルを読む「庭」				
	自己点検				
第15章	再び文学史を学ぶことについて				導入(はじめに)
				15-1	Canonということ
		15-2	伝統ということ		
			自己点検		
		理解度チェック4			
試 験				○「試験」 レポート試験は6月23日～6月30日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の7月1日～3日の間は全章の復習期間にしてください。	

科目名	英 文 法	開講単位数		
担当講師名	山 岡 洋	2		

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	序論(1) Introduction(1)		導入	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月12日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	「文法」とは何か？(What Is 'Grammar'?)	
		1-2	品詞と文の働き(Word Classes and Functions in a Sentence)	
			自己点検	
第2章	序論(2) Introduction(2)		導入	
		2-1	語順(Word Order)	
		2-2	主語(Subject)	
		2-3	数(Number)	
		2-4	時制の一致(Sequence of Tenses)	
		2-5	語句の結び付き(Connection of words and phrases)	
			自己点検	
第3章	文の種類(1) Types of Sentences(1)		導入	
		3-1	様々な種類(Various Types)	
		3-2	平叙文(Declarative Sentence): 肯定文と否定文	
			自己点検	
第4章	文の種類(2) Types of Sentences(2)	4-1	疑問文(Interrogative Sentence)	
		4-2	命令文(Imperative Sentence)	
		4-3	感嘆文(Exclamatory Sentence)	
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	名詞(1) Nouns(1)		導入	○学修期間 5章～6章 5月13日～5月26日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-1	名詞とは(What is a noun?)	
		5-2	可算名詞・不可算名詞(Countable/Uncontable Nouns)	
		5-3	名詞の性(Gender)	
		5-4	名詞の格(Case)	
第6章	名詞(2) Nouns(2)		自己点検	
		6-1	名詞の種類(Kinds of Noun)	
		6-2	普通名詞(Common Nouns)	
		6-3	集合名詞(Collective Nouns)	
		6-4	物質名詞 (Material Nouns)	
		6-5	抽象名詞(Abtract Nouns9	
		6-6	固有名詞(Proper Nouns)	
		自己点検		
理解度チェック2				
第7章	代名詞(1) Pronouns(1)		導入	○学修期間 7章～10章 5月27日～6月9日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	代名詞とは(What is a pronoun?)	
		7-2	人称代名詞(1)(Personal Pronouns) (1)	
第8章	代名詞(2) Pronouns(2)		自己点検	
		8-1	人称代名詞(2)(Personal Pronouns) (2)	
		8-2	指示代名詞(Demonstrative Pronouns)	
		8-3	疑問代名詞(Interrogative Pronouns)	
第9章	代名詞(3) Pronouns(3)		自己点検	
		9-1	不定代名詞(Indefinite Pronouns)	
		9-2	one	
		9-3	all	
		9-4	both	
		9-5	eitherとneither	
		9-6	eachとevery	
		9-7	anotherとother	
		9-8	相互代名詞(reciprocal pronouns)	
第10章	冠詞 Articles	9-9	some, any, no, every + -body, -one, -thing	
			自己点検	
			導入	
		10-1	冠詞とは(What is an article?)	
		10-2	冠詞の文法(The grammar of articles)	
		10-3	冠詞の意味(The meanings of articles)	
第11章	動詞(1)	10-4	総称文(Generic sentences)	
			自己点検	
			導入	
		11-1	動詞とは(What is a verb?)	
第12章	動詞(2)	11-2	動詞の文法的種類(The types of verbs)	
			自己点検	
		12-1	5文型(The 5 sentence patterns)	
第12章	動詞(2)	12-2	動詞の補部(Complements of verbs)	
		12-3	状態動詞と動作動詞(Stative verbs and dynamic verbs)	
			自己点検	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 試験は6月24日～7月1日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月2日～3日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	英語文学概説／英米文学概説	単位
担当教員名	猪野 恵也	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	アングロ・サクソン文学		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	序論		
		1-2	最近の歴史学と英文学研究		
		1-3	北欧伝説と運命観-アングロ・サクソン文学		
第2章	初期のキリスト教文学とChaucerの世界		自己点検		
			導入		
		2-1	初期のキリスト教文学		
		2-2	アーサー王伝説		
		2-3	フランス文化の流入		
第3章	Shakespeareの世界	2-4	聖俗の混交『カンタベリー物語』		
			自己点検		
			導入		
		3-1	シェイクスピアの世界		
		3-2	エリザベス朝と演劇の興隆		
		3-3	シェイクスピアの人生		
		3-4	シェイクスピアの台本の編集		
第4章	英文学における宗教と文学——MiltonとBunyan	3-5	シェイクスピアの戯曲		
		3-6	憂鬱なハムレット像		
		3-7	シェイクスピアと常識		
		3-8	人生の深い洞察		
			自己点検		
		理解度チェック1			
		第5章	散文文学の発達——DefoeとSwift		導入
4-1	清教徒革命				
4-2	ジョン・ミルトンの『失楽園』				
4-3	ジョン・バンヤン『天路歷程』				
4-4	清教主義				
4-5	ミルトンの人生と仕事				
4-6	『失楽園』				
4-7	『失楽園』の魅力				
第6章	英国の詩——形而上派・古典主義		自己点検		
			導入		
		5-1	英文学・文化の特質の研究		
		5-2	『ロビンソン・クルーソー』と『ガリヴァー旅行記』		
		5-3	デフォーの人生と『ロビンソン・クルーソー』		
		5-4	『ロビンソン・クルーソー』の読みどころ		
		5-5	文化史的問題点		
		5-6	宗教と実務		
		5-7	『ガリヴァー旅行記』と著者スウィフト		
第7章	人間的関心 (1): 常識とユーモア——Dr Johnson, Goldsmith: The Vicar of Wakefield	5-8	『ガリヴァー旅行記』の物語		
		5-9	スウィフトの性格と現代的視点		
			自己点検		
			導入		
		6-1	知的な詩の伝統		
		6-2	英文学における詩の位置		
		6-3	形而上派詩人		
		6-4	ジョン・ダン		
		6-5	ドライデンとボープ		
第8章	人間的関心 (2): 小説の誕生とロマン主義の復活——4大作家、ロマン派の詩人たち、ゴシック・ロマンスと超常現象趣味	6-6	ドライデンの人生と作品		
		6-7	ボープの世界		
		6-8	『人間論』		
		6-9	ボープの現実的人間論		
			自己点検		
		理解度チェック2			
		第9章	リアリズムの精神と小説の隆盛(1)——産業革命とヴィクトリア朝文化: AustenからBrontë姉妹まで		導入
				7-1	時代精神の変化
				7-2	ジョンソン博士
7-3	ジョンソン博士の名言				
7-4	Oliver Goldsmithの <i>The Vicar of Wakefield</i>				
7-5	<i>The Vicar of Wakefield</i> の問題点				
7-6	小説史とのかかわり				
第10章	リアリズムの精神と小説の隆盛(2)——G.EliotからHardyまで		自己点検		
			導入		
		8-1	小説の誕生まで		
		8-2	小説の開祖		
		8-3	Samuel Richardson		
		8-4	『パメラあるいは報いられた美德』		
		8-5	『パメラ』の成功と人気		
		8-6	Henry Fielding		
		8-7	Laurence Sterne & Tobias Smollett		
		8-8	神秘的想像力とロマン主義の詩		
		8-9	William Blake		
		8-10	Wordsworthと Coleridge		
		8-11	Byron, Shelley, Keats		
		8-12	Walter Scott		
		8-13	恐怖派のゴシック・ロマンス		
第11章	現代文学の発展——20世紀前半の文学	8-14	その他のゴシック・ロマンス		
		8-15	ゴシック・ロマンスと英国的想像力の伝統		
			自己点検		
			導入		
		9-1	Jane Austen		
		9-2	産業主義社会の到来と小説の発展		
		9-3	Charles Dickens		
		9-4	Elizabeth Gaskell		
		9-5	The Brontës		
		9-6	William Makepeace Thackeray		
理解度チェック3					

科目名	英語文学概説／英米文学概説	単位
担当教員名	猪野 恵也	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第11章	美の追求と自然主義・社会主義の文学―第一次大戦後まで		導入	○学修期間 11章～12章 6月8日～6月21日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月21日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		11-1	John Galsworthy, The Forsyte Sagaのヴィクトリア朝中産階級批判	
		11-2	アーノルド・ベネット(Arnold Bennett) の自然主義と審美的人生観	
		11-3	H. G. Wellsの科学知識と文明批評その他	
		11-4	世代の交代と新種の文化―Bloomsbury Group	
		11-5	第一次大戦・Ulysses・The Waste Land	
			自己点検	
第12章	20世紀英文学の課題――自然、政治的信条、信仰、福祉社会、植民地		導入	
		12-1	D. H. ロレンスと自然	
		12-2	ジョージ・オーウェル	
		12-3	さまざまな信条の嵐のなかで―イシャウッド、ウォー、グリーン	
		12-4	第二次大戦以後の文学―福祉国家と植民地出身者の作品	
		12-5	怒れる若者たち―福祉制度と労働階級	
		12-6	戦争中の収穫	
		12-7	アントニー・ボウエルとアンガス・ウィルソン―悪の研究	
		12-8	「怒れる若者たち」以後―哲学的性格と美的性格	
		12-9	現代小説の多様性と旧植民地ほかの異文化の影響	
			自己点検	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月22日から6月29日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月30日から7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	英 語 史	開講単位数
担当講師名	真野 一雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は2つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	インド・ヨーロッパ語族(1)		導入	○学修期間 1章～7章 4月26日～5月26日までに学修した上で理解度チェック1を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。 <

英語音声学MA 授業計画

科目名	英語音声学	開講単位数
担当講師名	森 晴代	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	話しことばの科学		導入	○学修期間 1章～5章 4月26日～5月13日までに学習した上で理解度チェック1を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月13日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	ことばと媒介		
		1-2	話しことばの中の情報		
		1-3	ことばの鎖		
			自己点検		
第2章	ことばを生み出す身体器官		導入		
		2-1	発音に関わる3つの機構		
		2-2	発声機構		
		2-3	調音機構		
		2-4	音声器官と音声言語		
			自己点検		
第3章	音声記述の枠組み(1)		導入		
		3-1	言語音声の分類と記述		
		3-2	子音の調音		
		3-3	国際音声字母(IPA)		
			自己点検		
第4章	音声記述の枠組み(2)		導入		
		4-1	母音の調音運動と声道		
		4-2	母音の調音		
		4-3	日本語の母音		
			自己点検		
第5章	音韻論の基本的概念(1)		導入		
		5-1	音声の言語学的段階		
		5-2	音素と異音		
		5-3	音節		
			自己点検		
理解度チェック1					
第6章	英語の母音		導入	○学修期間 6章～8章 5月14日～5月23日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けてください。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		6-1	アメリカ標準発音とイギリス標準発音		
		6-2	英語の母音		
		6-3	英語母音の調音の特徴		
		6-4	一般アメリカ発音と容認発音の音声表記		
			自己点検		
第7章	英語の子音		導入		
		7-1	子音の調音運動とその音声学的記述		
		7-2	調音の位置と様式		
		7-3	英語のRとL		
		7-4	英語の半母音		
			自己点検		
第8章	音節		導入		
		8-1	音節構造		
		8-2	英語の音節構造		
		8-3	頭子音と尾子音		
		8-4	音節と言語音の聞こえ度		
		8-5	音節主音的子音		
	自己点検				
理解度チェック2					
第9章	英語音声の観察と発音練習(1)		導入		○学修期間 9章～12章は、開講最終日まで受講可能ですが、5月24日～7月2日がレポート試験提出期間になりますので、注意してください。
		9-1	アメリカ標準発音の母音		
		9-2	イギリス標準発音の母音		
		9-3	アメリカ標準発音とイギリス標準発音の母音		
		9-4	英語母音とその音声表記		
第10章	英語音声の観察と発音練習(2)	10-1	困難を感じやすい英語子音の区別		
		10-2	英語の子音連続		
		10-3	英語子音とその音声表記		
第11章	音韻論の基本的概念(2)		導入		
		11-1	発音の規則性		
		11-2	英語の異音規則		
		11-3	明るいLと暗いL		
		11-4	Pre-Fortis Clipping		
			自己点検		
第12章	日英語の音声・音韻体系と音声転移		導入		
		12-1	音声転移		
		12-2	日本語と英語の分節音		
		12-3	日本語と英語の音節		
			自己点検		
試 験				○試験 レポート試験は5月24日～7月2日まで が、出題および提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	英語学概説	開講単位数
担当講師名	山 岡 洋	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	英語学とは 一言語学の中の英語学ー	1-1	「ことば」とは何か?	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月13日までに学修及び理解度チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は5月13日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	ことばの知識	
		1-3	言語学と英語学の諸分野	
			自己点検	
第2章	音の研究 一音声学と音韻論ー	2-1	音の研究分野	
		2-2	音声学と音韻論①	
		2-3	音声学と音韻論②	
			自己点検	
第3章	音声学(1)	3-1	ことばの音はどのように作られるか(始動・発声)	
		3-2	調音	
		3-3	ことばの音の種類	
			自己点検	
第4章	音声学(2)	4-1	母音①	
		4-2	母音②	
		4-3	子音①	
		4-4	子音②	
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	音韻論(1)	5-1	音素①	○学修期間 5章～8章 5月14日～5月23日までに学修及び理解度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は5月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-2	音素②	
		5-3	音声素性	
			自己点検	
第6章	音韻論(2)	6-1	音節	
		6-2	音節とモーラ、閉音節言語と開音節言語	
		6-3	音節量	
			自己点検	
第7章	音韻論(3)	7-1	アクセント	
		7-2	単語のアクセント①	
		7-3	単語のアクセント②	
		7-4	単語のアクセント③	
			自己点検	
第8章	音韻論(4)	8-1	句アクセント①	
		8-2	句アクセント②	
		8-3	句アクセント③	
		8-4	句アクセント④	
		8-5	句アクセント⑤	
		8-6	リズム①	
		8-7	リズム②	
		8-8	イントネーション	
		8-9	音声学音韻論まとめ	
			自己点検	
理解度チェック2				

科目名	英語学概説	開講単位数
担当講師名	山 岡 洋	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第9章	意味の研究	9-1	Introduction	○学修期間 9章～15章 5月24日～6月24日までに学修及び理解度チェック3を受けてください。 ○理解度チェック3 解答期限は6月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-2	意味の研究とは？①	
		9-3	意味の研究とは？②	
		9-4	多義性と同義性	
		9-5	前提と含意①	
		9-6	前提と含意②	
			自己点検	
第10章	意味論（1）	10-1	Introduction	
		10-2	他動性	
		10-3	アスペクト	
		10-4	「事実」と「想定」①	
		10-5	「事実」と「想定」②	
		10-6	「事実」と「想定」③	
		10-7	「事実」と「想定」④	
	自己点検			
第11章	意味論（2）	11-1	認知意味論①	
		11-2	認知意味論②	
		11-3	認知意味論の様々な概念①	
		11-4	認知意味論の様々な概念②	
			自己点検	
第12章	意味論（3）	12-1	メタファー①	
		12-2	メタファー②	
		12-3	メトニミー	
			自己点検	
第13章	意味論（4）	13-1	形式意味論①	
		13-2	形式意味論②	
		13-3	トークン反射語	
			自己点検	
第14章	語用論（1）	14-1	語用論とは①	
		14-2	語用論とは②	
		14-3	語用論とは③	
		14-4	「強調の原理」	
			自己点検	
第15章	語用論（2）	15-1	ポライトネス	
		15-2	面目とポライトネス	
		15-3	関連性理論	
			自己点検	
理解度チェック3				
試 験				○「試験」 試験は6月25日～7月2日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	東洋史概説／東洋史概論	開講単位数
担当講師名	高綱 博文	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

	章番号	章名	項番号	項名	受講期間
		表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
中国近現代史入門	第1章	中国概論	1-1	(導入)中国概論 中国という呼称 レジュメ 中国という呼称 解説	
			1-2	中国の概要 レジュメ 中国の概要 解説	
			1-3	中国の人口・民族 レジュメ 中国の人口・民族 解説	
			1-4	中国の歴史 レジュメ 中国の歴史 解説	
			1-5	中国の地理的特徴 レジュメ 中国の地理的特徴 解説	
			1-6	中国史の考え方 レジュメ 中国史の考え方 解説	
				まとめ	
清朝の衰退	第2章	アヘン戦争	2-1~2	(導入)アヘン戦争 時代背景 レジュメ 清朝の衰退 解説 朝貢システムの動揺 解説	○学修期間 1章~3章 4月26日~5月12日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
			2-3	アヘン問題 レジュメ アヘン問題 解説	
			2-4	アヘン戦争 レジュメ アヘン戦争 解説	
			2-5	南京条約 レジュメ 南京条約 解説	
			2-6	アロー戦争 レジュメ アロー戦争 解説	
				まとめ	
	第3章	太平天国運動	3-1	(導入)太平天国運動 時代背景 レジュメ 時代背景 解説	
			3-2	洪秀全と拝上帝会 レジュメ 洪秀全と拝上帝会 解説	
			3-3	太平天国の成立と変質 レジュメ 太平天国の成立と変質 解説	
			3-4	太平天国の滅亡 レジュメ 太平天国の滅亡 解説	
			3-5	太平天国運動の意義 レジュメ 太平天国運動の意義 解説	
				まとめ	
				理解度チェック1	
	第4章	洋務運動と変法運動	4-1	(導入)洋務運動と変法運動 洋務運動 レジュメ 洋務運動 解説	
			4-2	日清戦争 レジュメ 日清戦争 解説	
			4-3	変法運動 レジュメ 変法運動 解説	
			4-4	義和団運動 レジュメ 義和団運動 解説	
				まとめ	
中華民国の時代	第5章	辛亥革命	5-1	(導入)辛亥革命 列強の中国侵略 レジュメ 列強の中国侵略 解説	○学修期間 4章~6章 5月13日~5月26日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
			5-2	清朝の国政改革 レジュメ 清朝の国政改革 解説	
			5-3	革命運動の進展 レジュメ 革命運動の進展 解説	
			5-4	辛亥革命 レジュメ 辛亥革命 解説	
			5-5	軍閥支配 レジュメ 軍閥支配 解説	
				まとめ	
	第6章	五・四運動	6-1	(導入)五・四運動 第一次世界大戦と日中関係 レジュメ 第一次世界大戦と日中関係 解説	
			6-2	中国民族産業の発展 レジュメ 中国民族産業の発展 解説	
			6-3	新文化運動 レジュメ 新文化運動 解説	
			6-4	五・四運動 レジュメ 五・四運動 解説	
				まとめ	
				理解度チェック2	
	第7章	中国国民革命	7-1	(導入)中国国民革命 ワシントン体制と中国 レジュメ ワシントン体制と中国 解説	
			7-2	第一次国共合作 レジュメ 第一次国共合作 解説	
			7-3	国民革命 レジュメ 国民革命 解説	
			7-4	南京国民政府の全国統一 レジュメ 南京国民政府の全国統一 解説	
			7-5	中華ソヴィエト共和国臨時政府 レジュメ 中華ソヴィエト共和国臨時政府 解説	
				まとめ	
	第8章	満洲事変	8-1	(導入)満洲事変 満洲事変 レジュメ 満洲事変 解説	○学修期間 7章~9章 5月27日~6月9日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
			8-2	満洲国 レジュメ 満洲国 解説	
			8-3	南京国民政府の「安内攘外」政策 レジュメ 南京国民政府の「安内攘外」政策 解説	
			8-4	抗日民族統一戦線 レジュメ 抗日民族統一戦線 解説	
				まとめ	
	第9章	日中全面戦争	9-1	(導入)日中全面戦争 華北分離工作 レジュメ 華北分離工作 解説	
			9-2	日中全面戦争の開始 レジュメ 日中全面戦争の開始 解説	
			9-3	南京アトロシティーズ レジュメ 南京アトロシティーズ 解説	
			9-4	拡大する戦局 レジュメ 拡大する戦局 解説	
				まとめ	
				理解度チェック3	

科目名	東洋史概説／東洋史概論	開講単位数
担当講師名	高綱 博文	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

	章番号	章名	項番号	項名	受講期間
中華人民共和 国の時代	第10章	中華人民共和国の誕生		(導入)中華人民共和国の誕生	○学修期間 10章～12章 6月10日～6月23日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
			10-1	国共内戦 レジюме	
				国共内戦 解説	
			10-2	中華人民共和国の成立 レジюме	
				中華人民共和国の成立 解説	
			10-3	新中国の建設 レジюме	
				新中国の建設 解説	
	第11章	文化大革命	10-4	新中国の外交政策 レジюме	
				新中国の外交政策 解説	
				まとめ	
				(導入)文化大革命	
			11-1	「大躍進」政策 レジюме	
				「大躍進」政策 解説	
			11-2	「調整」政策 レジюме	
	第12章	改革・開放政策下の中国		「調整」政策 解説	
			11-3	中ソ対立 レジюме	
				中ソ対立 解説	
			11-4	文化大革命 レジюме	
				文化大革命 解説	
				まとめ	
				(導入)改革・開放政策下の中国	
			12-1	鄧小平体制の確立 レジюме	
				鄧小平体制の確立 解説	
			12-2	改革・開放政策 レジюме	
				改革・開放政策 解説	
			12-3	民主化運動と天安門事件 レジюме	
				民主化運動と天安門事件 解説	
			12-4	中国の新たな飛躍 レジюме	
				中国の新たな飛躍 解説	
				まとめ	
	理解度チェック4				
試 験					
○「試験」 レポート試験は6月24日～7月1日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。					
受講後アンケート					
試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。					
復習期間					
試験終了後の7月2日～3日の間は全章の復習期間にしてください。					

経済原論/経済学原論 MA メディア授業計画										
<table><tr><td>科目名</td><td>経済原論/経済学原論 MA</td><td>単位</td></tr><tr><td>担当教員名</td><td>前野 高章・陸 亦群</td><td>2</td></tr></table>			科目名	経済原論/経済学原論 MA	単位	担当教員名	前野 高章・陸 亦群	2	※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。	
科目名	経済原論/経済学原論 MA	単位								
担当教員名	前野 高章・陸 亦群	2								
章番号	章名	節番号	節名	受講期間						
	表紙			○本講座は2つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学習期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何 度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎ ると解答ができなくなりますので注意してください。						
第1章	経済学の基本問題	1節-1	経済学とは何か①	○学習期間 1章～9章 4月26日～6月6日までに学習及び理解度 チェック1を受けてください。 ○理解度チェック1 解答期限は4月26日～6月6日まで です。これを過 ぎると解答ができなくなります。						
		1節-2	経済学とは何か②							
		2節	市場と政府							
		3節	経済活動の主体と循環							
		4節	ミクロ経済学の課題とアプローチ							
第2章	需要と供給	1節	合理的な経済行動							
		2節-1	市場と需要・供給①							
		2節-2	市場と需要・供給②							
		3節	市場の均衡							
		4節	簡単な応用例							
第3章	家計の消費行動(1)	1節-1	家計の予算制約①							
		1節-2	家計の予算制約②							
		2節-1	効用と無差別曲線①							
		2節-2	効用と無差別曲線②							
		2節-3	効用と無差別曲線③							
第4章	家計の消費行動(2)	1節	最適消費の決定							
		2節	所得と消費							
		3節-1	価格と消費①							
		3節-2	価格と消費②							
		3節-3	価格と消費③							
第5章	生産要素市場と所得分配	1節	企業の労働需要							
		2節-1	家計の労働供給①							
		2節-2	家計の労働供給②							
		3節	労働市場の均衡							
		4節	固定的生産要素の価格							
第6章	生産者行動の理論(1)	1節-1	インプットとアウトプット①							
		1節-2	インプットとアウトプット②							
		1節-3	インプットとアウトプット③							
第7章	生産者行動の理論(2)	1節-1	生産要素の最適投入①							
		1節-2	生産要素の最適投入②							
		2節-1	短期費用と長期費用①							
		2節-2	短期費用と長期費用②							
		2節-3	短期費用と長期費用③							
第8章	生産者行動の理論(3)	1節-1	利潤最大化と最適生産①							
		1節-2	利潤最大化と最適生産②							
		2節-1	短期供給曲線と長期供給曲線①							
		2節-2	短期供給曲線と長期供給曲線②							
第9章	完全競争市場と効率性	1節	完全競争市場の均衡							
		2節	市場均衡の安定性							
		3節-1	経済余剰と市場の効率性①							
		3節-2	経済余剰と市場の効率性②							
		4節	効率性の基準:パレート最適							
		5節-1	パレート最適な資源配分の条件							
		5節-2	パレート最適な資源配分の条件							
		5節-3	パレート最適な資源配分の条件							
		6節	完全競争経済とパレート最適							
理解度チェック1										
第10章	不完全競争(1)	1節-1	独占①	○学習期間 10章～15章 6月7日～6月24日までに学習及び理解 度チェック2を受けてください。 ○理解度チェック2 解答期限は6月24日まで です。これを過ぎると解答が できなくなります。						
		1節-2	独占②							
		1節-3	独占③							
		1節-4	独占④							
		1節-5	独占⑤							
		2節	独占的競争							
第11章	不完全競争(2)	1節-1	寡占①							
		1節-2	寡占②							
		1節-3	寡占③							
		2節	産業規制①							
第12章	外部性と公共財	1節-1	外部性と環境問題							
		2節-1	当事者交渉と環境対策①							
		2節-2	当事者交渉と環境対策②							
		3節	公共財							
		4節-1	公共財の供給メカニズム①							
第13章	ゲームの理論(1)	4節-2	公共財の供給メカニズム②							
		1節-1	ゲーム理論とは何か							
		2節-1	戦略型ゲームとナッシュ均衡①							
		2節-2	戦略型ゲームとナッシュ均衡②							
		2節-3	戦略型ゲームとナッシュ均衡③							
第14章	ゲームの理論(2)	1節-1	ゲームの木と展開型ゲーム①							
		1節-2	ゲームの木と展開型ゲーム②							
		2節	繰り返しゲーム							
		3節	部分ゲーム完全均衡							
第15章	情報とリスクの経済学	4節	まとめ:経済分析への応用							
		1節	情報とは何か							
		2節-1	不確実性と意思決定①							
		2節-2	不確実性と意思決定②							
		3節	保険市場							
4節	情報の非対称性									
理解度チェック2										
試験				○試験 最終試験は6月25日～7月2日まで が、出題および 解答期間となっています。これを過ぎると解答ができなくな ります。						
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。						
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。						

科目名	経済学概論	開講単位数
担当講師名	関谷 喜三郎	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート，12章で構成されています。 また，それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが， 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので 十分注意してください。
第1章	需要と供給		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	ミクロ経済学	
		1-2	需要と供給	
		1-3	市場均衡	
第2章	家計の行動		導入	
		2-1	予算制約	
		2-2	選好と無差別曲線	
		2-3	最適消費計画	
第3章	最適選択		導入	
		3-1	代替効果と所得効果	
		3-2	スルツキー方程式	
		3-3	需要曲線	
理解度チェック1				
第4章	スルツキー方程式の応用		導入	○学修期間 4章～6章 5月12日～5月25日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	初期保有と最適選択	
		4-2	労働市場	
第5章	企業行動：利潤最大化		導入	
		5-1	技術の制約	
		5-2	生産関数と限界生産物	
		5-3	利潤最大化	
第6章	企業行動：費用曲線		導入	
		6-1	総費用	
		6-2	限界費用と平均費用	
		6-3	利潤最大化	
		6-4	供給曲線	
理解度チェック2				
第7章	企業行動：費用最小化		導入	○学修期間 7章～9章 5月26日～6月8日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	等量線	
		7-2	等費用線	
		7-3	費用最小化	
第8章	競争均衡		導入	
		8-1	完全競争市場	
		8-2	市場メカニズム	
		8-3	最適資源配分	
		8-4	厚生経済学の基本定理	
第9章	不完全競争：独占		導入	
		9-1	不完全競争市場	
		9-2	独占市場	
		9-3	独占的競争市場	
理解度チェック3				
第10章	不完全競争：寡占		導入	○学修期間 10章～12章 6月9日～6月22日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	寡占市場	
		10-2	ゲーム理論とナッシュ均衡	
		10-3	クールノー均衡	
第11章	不確実性		導入	
		11-1	不確実性と期待効用	
		11-2	リスクと保険	
		11-3	不完全情報と市場	
第12章	市場と政府の役割		導入	
		12-1	市場の失敗	
		12-2	外部効果	
		12-3	公共財	
		12-4	政府の介入	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月23日～6月30日まで が，出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月1日～3日の間は全章の復習期間にしてください。

日本経済論MA メディア授業計画

科目名	日本経済論	開講単位数
担当講師名	佐久間 隆	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	日本経済論への招待	1	授業のねらいについて	○学修期間 1章～6章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2	科書と授業の進め方について		
		3-1	日本経済にどうアプローチするか1		
		3-2	日本経済にどうアプローチするか2		
		4-1	予習範囲、自習問題		
		4-2	自己点検問題		
第2章	経済学の基礎概念とデータ	1-1	日本経済を学ぶにあたっての基礎概念-市場の役割1-		
		1-2	日本経済を学ぶにあたっての基礎概念-市場の役割2-		
		1-3	日本経済を学ぶにあたっての基礎概念-政府の役割と経済政策-		
		1-4	日本経済を学ぶにあたっての基礎概念-短期と長期-		
		2	経済データの重要性		
		3-1	予習範囲、自習問題		
		3-2	自己点検問題		
第3章	高度成長の時代	1-1	高度成長の時代		
		1-2	自己点検問題		
		2	高度成長の明と暗		
		3-1	高度成長の要因-高度成長の要因-		
		3-2	高度成長の要因-資本の蓄積-		
		3-3	高度成長の要因-海外からの技術導入-		
		3-4	高度成長の要因-政府の役割-		
		4-1	予習範囲、自習問題		
		4-2	自己点検問題		
第4章	波乱の時代とその後の低成長	1-1	高度成長期を過ぎて-ブレトン・ウッズ体制の崩壊-		
		1-2	高度成長期を過ぎて-二次にわたる石油危機-		
		1-3	高度成長期を過ぎて-1980年代の日本経済-		
		2-1	日本経済の失われた20年-成長率の鈍化-		
		2-2	日本経済の失われた20年-成長率鈍化の要因1-		
		2-3	日本経済の失われた20年-成長率鈍化の要因2-		
		3-1	予習範囲、自習問題		
		3-2	自己点検問題		
第5章	バブル崩壊後の失業増と緩やかなデフレ	1	労働市場の動向		
		2-1	長期にわたる緩やかなデフレ1		
		2-2	長期にわたる緩やかなデフレ2		
		3-1	予習範囲、自習問題		
		3-2	自己点検問題		
第6章	低迷期の経済実態	1	為替レートの推移		
		2-1	経常収支の構造変化1		
		2-2	経常収支の構造変化2		
		3-1	低金利とバブルの生成・崩壊1		
		3-2	低金利とバブルの生成・崩壊2		
		4-1	予習範囲、自習問題		
		4-2	自己点検問題		
理解度チェック1					○学修期間 7章～10章 5月15日～5月24日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
第7章	日本の労働市場の特徴	1	失業者とは誰のことか		
		2	失業が起きる原因(需要不足による失業)		
		3-1	ミスマッチによる失業1		
		3-2	ミスマッチによる失業2		
		4-1	予習範囲、自習問題		
		4-2	自己点検問題		
第8章	所得格差と再配分	1	格差の定義		
		2-1	所得格差の推移1		
		2-2	所得格差の推移2		
		3-1	賃金格差の例-男女間賃金格差1-		
		3-2	賃金格差の例-男女間賃金格差2-		
		4-1	予習範囲、自習問題		
		4-2	自己点検問題		
第9章	日本の中小企業	1	中小企業の定義		
		2-1	中小企業の現状1		
		2-2	中小企業の現状2		
		3	ベンチャー企業の定義と役割		
		4	中小企業とベンチャー企業の減少		
		5-1	予習範囲、自習問題		
		5-2	自己点検問題		
第10章	開業率の低さと製品開発力の衰え	1-1	企業の参入と退出-日本の開業率-		
		1-2	企業の参入と退出-日本の開業率が低い理由-		
		1-3	企業の参入と退出-政府の開業支援策-		
		2	既存企業の製品開発力		
		3	これからの中小企業およびベンチャー企業の役割		
		4-1	予習範囲、自習問題		
		4-2	自己点検問題		
理解度チェック2					

日本経済論MA メディア授業計画

科目名	日本経済論	開講単位数
担当講師名	佐久間 隆	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
第11章	産業構造の変化	1	日本における産業構造の変遷	○学修期間 11章～15章 5月25日～6月25日までに学修及び理解度チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-1	なぜ産業構造の転換は必要か1		
		2-2	なぜ産業構造の転換は必要か2		
		3-1	予習範囲、自習問題		
		3-2	自己点検問題		
第12章	産業の新しい動き	1-1	IT革命1		
		1-2	IT革命2		
		2-1	無形資産投資の役割1		
		2-2	無形資産投資の役割2		
		3-1	予習範囲、自習問題		
3-2	自己点検問題				
第13章	公害とグローバルな環境問題	1-1	公害との闘い-経済発展と環境問題-		
		1-2	公害との闘い-4大公害とその後の展開1-		
		1-3	公害との闘い-4大公害とその後の展開2-		
		2-1	グローバルな環境問題への取り組み-地球温暖化問題-		
		2-2	グローバルな環境問題への取り組み-日本の取り組みと果たすべき役割		
		2-3	グローバルな環境問題への取り組み-COP21の成果と課題-		
		3-1	予習範囲、自習問題		
3-2	自己点検問題				
第14章	環境政策と原発事故	1-1	環境問題への政策的対処方法-直接規制-		
		1-2	環境問題への政策的対処方法-環境税(ピグー税)-		
		1-3	環境問題への政策的対処方法-排出量取引制度-		
		2-1	原発事故とエネルギー問題-原発事故による放射能環境汚染-		
		2-2	原発事故とエネルギー問題-原発事故とエネルギー問題-		
		3-1	予習範囲、自習問題		
		3-2	自己点検問題		
理解度チェック3					
第15章	全体のまとめ	1-1	1、2章の要点とキーワード理解の確認		
		1-2	3～6章の要点とキーワード理解の確認		
		1-3	7～10章の要点とキーワード理解の確認		
		1-4	11-14章の要点とキーワード理解の確認		
		2	最終レポート試験についての説明と注意事項		
試 験				○「試験」 レポート試験は6月26日から7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	国際経済論	開講単位数
担当講師名	前 野 高 章	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

	章番号	章名	項番号	項名	受講期間		
		表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。		
世界経済の発展	第1章	世界経済の発展と構造変化		導入	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月12日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月12日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			1－1	世界経済の生成と発展			
			1－2	第一次世界大戦前の世界経済			
			1－3	両対戦間期の世界経済			
			1－4	第1章 自己点検			
	第2章	戦後の世界経済の発展とその特徴		導入			
			2－1	生産と貿易の急速な回復と発展			
			2－2	国際経済関係の基本的変化			
			2－3	国際経済協力の新展開			
			2－4	戦後世界経済の発展とその主要特徴			
	2－5	第2章 自己点検					
	第3章	経済体制と経済構造の変質		導入			
			3－1	IMF・GATT体制の変質			
			3－2	世界経済の相互依存性の増大			
			3－3	南北問題の変質と南々問題			
			3－4	第3章 自己点検			
	第4章	1990年代以降の世界経済の変貌		導入			
			4－1	市場化とグローバリゼーションの進展			
			4－2	WTOの発足と地域主義の盛行			
			4－3	中国その他新興工業地域の台頭とその衝撃			
			4－4	第4章 自己点検			
	理解度チェック1						
	国際貿易の基礎理論	第5章	伝統的貿易理論			導入	○学修期間 5章～7章 5月13日～5月26日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月26日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
				5－1		「もの」と「かね」の2つの側面	
5－2				国際貿易の基礎			
5－3				伝統的(古典派)貿易理論			
5－4				第5章 自己点検			
第6章		新古典派の貿易理論		導入			
			6－1	要素賦存と国際貿易			
			6－2	ヘクシャー＝オリーンの定理			
			6－3	新古典派理論の精緻化			
			6－4	第6章 自己点検			
第7章		近代的貿易理論		導入			
			7－1	レオンティエフの逆説			
			7－2	近代的貿易理論			
			7－3	近代貿易理論の特徴			
			7－4	第7章 自己点検			
理解度チェック2							
国際貿易の純粋理論分析	第8章	国際貿易の純粋理論による説明 その1		導入	○学修期間 8章～9章 5月27日～6月9日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月9日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			8－1	貿易利益に関する部分均衡分析			
			8－2	国際貿易における一般均衡分析モデルの基礎			
			8－3	第8章 自己点検			
	第9章	国際貿易の純粋理論による説明 その2	9－1	自由貿易均衡における貿易利益の発生			
			9－2	要素の成長と貿易の変化			
			9－3	第9章 自己点検			
	理解度チェック3						
国際貿易の政策論	第10章	関税と経済厚生		導入	○学修期間 10章～12章 6月10日～6月23日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。		
			10－1	国際貿易政策の目的と手段			
			10－2	関税の基本分析			
			10－3	第10章 自己点検			
	第11章	輸出入政策と管理貿易	11－1	輸出政策			
			11－2	輸入政策			
			11－3	第11章 自己点検			
	第12章	自由貿易と保護貿易	12－1	自由貿易と保護貿易			
			12－2	自由貿易の前提と保護貿易の論拠			
			12－3	産業保護と発展途上国			
			12－4	第12章 自己点検			
	理解度チェック4						
試 験					○「試験」 レポート試験は6月24日～7月1日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。		
受講後アンケート					試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。		
復習期間					試験終了後の7月2日～3日は全章の復習期間にしてください。		

情報概論MA 授業計画

科目名	情報概論	開講単位数
担当講師名	久東 義典	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	節名	項番号	項名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	コンピュータの構造		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	コンピュータの構成要素	
		1-2	パソコンの内部構成	
		1-3	記憶装置の特徴	
		1-4	半導体メモリ	
		1-5	ハードディスク	
		1-6	CPU	
		1-7	練習問題	
第2章	CPUの動作原理		導入	
		2-1	論理素子の歴史	
		2-2	論理素子の動作原理	
		2-3	論理回路	
		2-4	CPUの動作	
		2-5	練習問題	
第3章	演算処理		導入	
		3-1	基数	
		3-2	2進数と10進数の変換	
		3-3	桁数多い足し算	
		3-4	負の表現	
		3-5	かけ算、割り算	
		3-6	数学関数	
		3-7	練習問題	
理解度チェック1				
第4章	情報量		導入	
		4-1	情報量	
		4-2	情報量の単位	
		4-3	英文字の情報量	
		4-4	日本語の情報量	
		4-5	文字コード	
		4-6	練習問題	
第5章	マルチメディア表現		導入	
		5-1	MIDI楽曲情報	
		5-2	音声情報	
		5-3	静止画像	
		5-4	動画像	
		5-5	練習問題	
第6章	データ通信		導入	
		6-1	通信の情報量	
		6-2	文字情報圧縮	
		6-3	音声情報圧縮	
		6-4	画像情報圧縮	
		6-5	動画像情報圧縮	
		6-6	誤り検出・訂正	
		6-7	練習問題	
理解度チェック2				
第7章	オペレーティングシステム		導入	
		7-1	オペレーティングシステムとは	
		7-2	OSの機能	
		7-2	OSの種類	
		7-3	練習問題	
第8章	表計算		導入	
		8-1	表計算ソフトとは	
		8-2	データ入力、編集	
		8-3	関数利用	
		8-4	式の利用	
		8-5	論理式	
		8-6	グラフ作成	
		8-7	練習問題	
第9章	データベース理論		導入	
		9-1	データベースとは	
		9-2	データベースの表現法	
		9-3	関係的表現のデータ操作	
		9-4	練習問題	
理解度チェック3				
第10章	データベース記述		導入	
		10-1	SQLとは	
		10-2	SQLの基本構文	
		10-3	条件検索	
		10-4	並べ替え	
		10-5	結合	
		10-6	練習問題	
第11章	ソフトウェアの基礎		導入	
		11-1	プログラミング言語	
		11-2	プログラムの内部動作	
		11-3	高級言語の基本処理	
		11-4	オブジェクト指向	
		11-5	練習問題	
第12章	アルゴリズム		導入	
		12-1	アルゴリズム	
		12-2	フローチャート	
		12-3	ソーティング	
		12-4	ヒューマンインタフェースの設計	
		12-5	練習問題	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月22日～6月29日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月30日～7月3日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	商学総論	開講単位数
担当講師名	金 雲鎬	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は2つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。	
第1章	オリエンテーション、商業とマーケティング① 「マーケティング・マネジメント論」	1	オリエンテーション	○学修期間 1章～6章 4月26日～5月14日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月14日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		2-1	マーケティングとは何か①		
		2-2	マーケティングとは何か②		
		3	マーケティング・マネジメント論		
第2章	商業とは何か①「流通の定義、商業者の存在意義」	1	復習		
		2	直接流通と間接流通		
		3	商業者の存在意義①		
第3章	商業とは何か②「流通における費用、生産者・消費者の流通費用」	1	復習		
		2	流通費用		
		3	商業者の存在意義②		
第4章	商業とマーケティング②「製品差別化」	1	復習		
		2	マーケティングにおける市場		
		3-1	製品差別化とポジショニング①		
		3-2	製品差別化とポジショニング②		
第5章	商業とマーケティング③「市場、そして市場細分化」	1	復習		
		2-1	市場細分化①		
		2-2	市場細分化②		
		3	製品差別化と市場細分化の違い		
第6章	商業とマーケティング④「製品ライフサイクル」	1	復習		
		2	製品ライフサイクル		
		3	PLCの4つのステージと3つの考え方		
理解度チェック1					
第7章	流通における構造①「小売商業の構造」	1	復習		○学修期間 7章～13章 5月15日～6月7日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は6月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	小売商業の構造		
		3	小売店舗数はどのように決まるか		
第8章	流通における構造②「卸売商業の構造 i」	1	復習		
		2	卸売商業者の役割と他段階化		
		3	流通他段階化のメカニズム		
第9章	流通における構造③「卸売商業の構造 ii」	1-1	小売と卸売の異質性①		
		1-2	小売と卸売の異質性②		
		2	流通革命と卸売に対する誤解		
		3	卸売の革新と日本の流通特性		
第10章	流通における関係①「生産者による流通系列化」	1	復習		
		2-1	流通系列化の形成①		
		2-2	流通系列化の形成②		
		3	流通系列化の形成③ 流通系列化の変化		
第11章	流通における関係②「商業におけるパワー関係」	1	復習 パワー関係の形成		
		2	依存関係によるパワー形成		
		3	資源によるパワー関係の形成		
第12章	流通における関係③「商業における信頼関係」	1	復習 信頼関係の経済的メリット		
		2	信頼関係の構築と難しさ		
		3	信頼のパラドックス		
第13章	流通における関係④「チェーンストア理論」	1	復習 小売業者が主導権を持つメカニズム		
		2	チェーンストア経営のメリットとデメリット		
		3	チェーンストア経営のタイプ		
理解度チェック2					
第14章	全体復習①「商業とマーケティング」	1	マーケティング・マネジメント論と限界	○学修期間 14章～15章は、開講最終日まで受講可能ですが、6月8日～7月3日がレポート試験提出期間になりますので、注意してください。	
		2	マーケティングの考え、製品差別化、製品ポートフォリオ理論		
		3	ケース:ヘルシア緑茶、PLC、そしてマーケティング知識の応用		
第15章	全体復習②「流通における構造、流通における関係 i」	1	参考書指定の理由、商業者の役割、流通の基礎		
		2	流通における構造		
		3	流通における関係①		
		4	流通における関係②		
試 験				○「試験」 レポート試験は6月8日から7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	経営学	単位
担当 教員名	高橋 淑郎	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。
第1章	経営学とはどのような学問か		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-1	経営学を学ぶ意味	
		1-2	経営学の研究対象・学的性格・研究方法	
			自己点検	
第2章	現代産業社会の特質		導入	
		2-1	グローバリゼーション	
		2-2	経済のサービス化・ソフト化と情報・知識集約化社会	
		2-3	地球環境問題	
		2-4	少子・高齢化社会	
		2-5	価値観・勤労観・ライフスタイルの変化	
			自己点検	
第3章	企業・会社の概念と形態		導入	
		3-1	企業・会社とは何か	
		3-2	会社の諸形態	
			自己点検	
理解度チェック1				
第4章	企業における所有・経営・支配の関係		導入	○学修期間 4章～6章 5月12日～5月25日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	現代企業における所有・経営・支配	
		4-2	コーポレートガバナンス	
			自己点検	
第5章	企業集団とグループ経営		導入	
		5-1	企業結合の論理	
		5-2	企業集団	
		5-3	グループ経営	
	自己点検			
第6章	企業目的と経営目標		導入	
		6-1	企業目的	
		6-2	現代企業の経営目標	
			自己点検	
理解度チェック2				
第7章	経営戦略(I)経営戦略の意義と体系・タイプ		導入	○学修期間 7～9章 5月26日～6月8日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		7-1	経営戦略の意義と体系	
		7-2	事業構成戦略	
		7-3	経営戦略のタイプ	
			自己点検	
第8章	経営戦略(II)資源展開戦略, 競争戦略, 組織間関係戦略		導入	
		8-1	資源展開戦略	
		8-2	競争戦略	
		8-3	組織間関係戦略	
	自己点検			
第9章	経営組織		導入	
		9-1	企業組織のデザイン	
		9-2	企業組織の諸形態	
			自己点検	
理解度チェック3				
第10章	経営組織の理論		導入	○学修期間 10章～12章 6月9日～6月22日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	官僚制組織の論理と病理	
		10-2	近代組織論	
		10-3	コンティンジェンシー理論	
		10-4	知識創造モデル	
			自己点検	
第11章	経営管理		導入	
		11-1	企業経営の職能	
		11-2	マネジメントの機能と階層	
		11-3	経営計画と統制	
	自己点検			
第12章	企業文化		導入	
		12-1	企業文化の意義	
		12-2	企業文化のタイプ	
		12-3	企業文化の変革	
			自己点検	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月23日～6月30日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。 ○試験解答回数 解答期間内であれば何度でも解答可能です。 ただし、一番最後に解答したものを有効な解答として受理します。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月1日～3日の間は全章の復習期間にしてください。

簿記論 I MA 授業計画

科目名	簿記論 I	開講単位数
担当講師名	村井 秀樹	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので 十分注意してください。	
第1章	簿記の概要		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	簿記の位置づけ		
		1-2	簿記の歴史		
		1-3	簿記の体系		
第2章	複式簿記の構造		自己点検		
			導入		
		2-1	会計公準		
		2-2	資産・負債・資本と貸借対照表		
第3章	複式簿記一巡の手続き	2-3	費用・収益と損益計算書		
			自己点検		
			導入		
		3-1	取引		
		3-2	仕訳と勘定		
			自己点検		
理解度チェック1					
第4章	商品		導入		○学修期間 4章～6章 5月11日～5月24日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	記帳方法		
		4-2	仕入諸掛り・発送費・返品・値引などの処理		
		4-3	仕入帳と売上帳		
第5章	現金・預金	4-4	商品有高帳		
			自己点検		
			導入		
		5-1	現金の範囲		
第6章	売掛金と買掛金	5-2	現金出納帳		
		5-3	当座預金		
		5-4	当座預金出納帳		
		5-5	現金過不足		
第7章	有価証券	5-6	小口現金		
		5-7	当座借越		
			自己点検		
			導入		
第8章	受取手形・支払手形	6-1	売 掛 金		
		6-2	買 掛 金		
		6-3	貸倒れの処理		
		6-4	売掛金・買掛金以外の債権・債務		
			自己点検		
理解度チェック2					
第9章	固定資産		導入	○学修期間 7～9章 5月25日～6月7日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		7-1	有価証券の範囲		
		7-2	有価証券の分類と評価		
		7-3	有価証券の売買		
第10章	伝票		自己点検		
			導入		
		8-1	受取手形・支払手形		
		8-2	約 束 手 形		
第11章	決算	8-3	為 替 手 形		
		8-4	手形の裏書譲渡・割引		
		8-5	受取手形記入帳・支払手形記入帳		
		8-6	手形貸付金・手形借入金		
第12章	総まとめ		自己点検		
			導入		
		9-1	有形固定資産の購入		
		9-2	減価償却		
		9-3	有形固定資産の売却		
			自己点検		
理解度チェック3					
第13章	伝票		導入	○学修期間 10章～12章 6月8日～6月21日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月21日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-1	伝票の意味と種類		
		10-2	仕訳伝票		
		10-3	三伝票制		
第14章	決算		自己点検		
			導入		
		11-1	決算の意味		
		11-2	決算の手順		
第15章	総まとめ	11-3	試算表の作成		
		11-4	棚卸表の作成		
		11-5	決算整理事項		
		11-6	精算表の作成		
第16章	試験	11-7	財務諸表作成手続き		
			自己点検		
			導入		
		12-1	決算整理事項		
		12-2	精算表		
			自己点検		
理解度チェック4					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月22日～6月29日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の6月30日～7月3日の間は全章の復習期間にしてください。	

貿易論MA 授業計画

科目名	貿易論	開講単位数
担当講師名	松原 聖	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は4つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されております。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので十分注意してください。	
第1章	データで見る日本の貿易		導入(はじめに)	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	地域(国)別輸出入		
		1-2	主要商品別輸出		
		1-3	主要商品別輸入		
		1-4	なぜ外国と貿易をするのか		
			自己点検		
第2章	比較優位の原理Ⅰ		導入(はじめに)		
		2-1	絶対優位		
		2-2	比較優位		
			自己点検		
第3章	需要と供給		導入(需要と供給)		
		3-1	需要(量)、供給(量)とはなにか		
		3-2	需要(量)、供給(量)の決定要因		
		3-3	均衡価格、均衡取引量の決定		
		3-4	均衡の変化の分析		
			自己点検		
第4章	比較優位の原理Ⅱ ヘクシャー・オリーンの貿易理論		導入(はじめに)		
		4-1	要素賦存量とヘクシャー・オリーンの定理		
		4-2	ヘクシャー・オリーンの定理		
		4-3	要素価格均等化の定理		
		4-4	リブチンスキーの定理		
		4-5	ストルパー・サミュエルソンの定理		
		4-6	自由貿易と経済発展		
			自己点検		
理解度チェック1					
第5章	自由貿易と保護主義		導入(はじめに)	○学修期間 5章～7章 5月12日～5月25日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		5-1	幼稚産業保護の議論		
		5-2	戦略的貿易政策		
		5-3	産業転換に伴う調整コスト		
		5-4	政治的決定から来る制約		
			自己点検		
第6章	貿易の流れ(貿易実務入門)①		導入(はじめに)		
		6-1	貿易の基本的な流れ		
		6-2	保険の仕組み		
		6-3	種々の建値		
		6-4	海上保険の仕組み		
		6-5	貿易保険の種類		
		6-6	運輸の役割		
			自己点検		
第7章	貿易の流れ(貿易実務入門)②		導入(貿易手続きの電子化)		
		7-1	船荷証券の危機		
		7-2	ようやく始まった電子化		
		7-3	貿易実務の学び方		
			自己点検		
理解度チェック2					
第8章	国際収支①		導入(はじめに)		○学修期間 8～9章 5月26日～6月8日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月8日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		8-1	国際収支表の内容・構成		
		8-2	経常収支		
		8-3	資本収支		
		8-4	国際収支表のその他の項目といくつかの注意		
		8-5	日本の経常収支の長期的な動向		
			自己点検		
第9章	国際収支②	9-1	経常収支と国民所得勘定		
		9-2	国内需要との関係(アブソプション・アプローチ)		
		9-3	対外純資産の増減		
		9-4	国全体の資金需要(貯蓄・投資バランス)		
			自己点検		
理解度チェック3					
第10章	為替レートと外国為替市場①		導入(国際決済と外国為替)	○学修期間 10章～12章 6月9日～6月22日までに学修した上で理解度チェック4を受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		10-1	外国為替市場とは		
		10-2	成長を遂げる外国為替ビジネス		
		10-3	日本における外国為替取引の自由化		
		10-4	為替リスク		
		10-5	為替リスクとは何か		
		10-6	為替リスク回避の手段		
		10-7	直先レートと金利裁定		
			自己点検		
第11章	為替レートと外国為替市場②	11-1	為替レートの貿易収支調整機能とその限界		
		11-2	産業部門別の円高インパクトの違い		
		11-3	輸出産業へのインパクト		
		11-4	輸入産業、国内サービス産業へのインパクト		
		11-5	円高阻止の諸政策の問題点		
			自己点検		
第12章	海外直接投資と貿易構造	12-1	重要性が増す直接投資		
		12-2	プロダクト・サイクル論		
		12-3	取引費用に基づく直接投資の理論		
		12-4	貿易に影響する直接投資		
			自己点検		
理解度チェック4					
試 験					○「試験」 レポート試験は6月23日～6月30日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート					試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間					試験終了後の7月1日～3日は全章の復習期間にしてください。

広告論 MA メディア授業計画				
科目名	広告論	単位	※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。	
担当教員名	雨宮 史卓	2		
章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第11章	経験価値と総称ブランド	1節	経験価値とは	○学修期間 11章～15章 5月25日～6月25日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は6月25日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2節	経済価値としての経験価値	
		3節	ブランド概念と総称ブランド	
		4節	総称ブランドの活用	
			自己点検	
第12章	ストアのブランド概念	1節	食品に対する消費者意識(フード・ビジネスにおける食品の分類)	
		2節	フード・ビジネスの変遷その1	
		3節	フード・ビジネスの変遷その2	
		4節	ストア・ブランド・エクイティ	
			自己点検	
第13章	消費者行動1	1節	マズロー欲求五段階説	
		2節	日本市場の発展とマズロー欲求五段階説	
		3節	顧客購買への心理的プロセス	
		4節	消費行動と購買行動 消費者行動と広告・プロモーションの役割	
			自己点検	
第14章	消費者行動2	1節	プロスペクト理論その1	
		2節	プロスペクト理論その2	
		3節	採用者カテゴリーその1	
		4節	採用者カテゴリーその2(ペネトレーション戦略)	
			自己点検	
第15章	広告論MAの総復習	1節	マーケティングとプロモーション	
		2節	プロモーションと広告	
		3節	広告についてその1	
		4節	広告についてその2	
		5節	ブランドについて	
	自己点検			
理解度チェック3				
試験				○「試験」 レポート試験は6月26日～7月3日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	教育原論／教育の思想	開講単位数
担当講師名	北野秋男	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間	
	表紙			○本講座は3つのパート、12章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので注意してください。	
第1章	なぜ教育思想を学ぶのか		導入	○学修期間 1章～3章 4月26日～5月13日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月13日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		1-1	授業の課題と構成		
		1-2	近代教育の発展と限界		
		1-3	近代教育のパラドックス		
			自己点検		
第2章	コメニウスの教授学 ―斉教授の方法―		導入		
		2-1	コメニウスへの邂逅		
		2-2	コメニウス		
		2-3	自然的方法に立つ―斉教授		
		2-4	コメニウスの評価と限界		
	自己点検				
第3章	ロック自律論 ―人間の理性による自律―		導入		
		3-1	対立する人間観		
		3-2	人間の「理性」と「自律」		
		3-3	家庭教育論		
		3-4	近代教育思想の原型		
	自己点検				
理解度チェック1					
第4章	ルソーの市民教育 ―子どもの発見―		導入		○学修期間 4章～7章 5月14日～5月23日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		4-1	子どもの人権		
		4-2	ルソー		
		4-3	自然人の教育		
		4-4	特色・影響		
	自己点検				
第5章	ペスタロッチの人間教育 ―直観教授の確立―		導入		
		5-1	人間教育		
		5-2	教育思想		
		5-3	教育史上の意義と影響		
			自己点検		
第6章	ヘルバルトの科学的教育学 ―教授過程の定型化―		導入		
		6-1	ヘルバルトの課題		
		6-2	全体の見取図―科学的教育学		
		6-3	評価・影響		
			自己点検		
第7章	フレーベルの幼児教育 ―幼稚園の創設―		導入		
		7-1	今日の幼稚園		
		7-2	フレーベル		
		7-3	フレーベル幼稚園の普及・評価		
			自己点検		
理解度チェック2					
第8章	マンの公教育普及論 ―教育を受ける権利思想―		導入	○学修期間 8～12章 5月24日～6月24日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。	
		8-1	自然権思想とコモン・スクール		
		8-2	公教育の有用性と功利性		
		8-3	愛による教育		
		8-4	公教育思想の再検討		
	自己点検				
第9章	デューイの新教育思想 ―児童中心の教育―		導入		
		9-1	新教育運動の起源		
		9-2	児童中心の教育思想		
		9-3	新教育運動の継承と発展		
			自己点検		
第10章	ニイルの自由主義教育論 ―フリー・スクールの創設者―		導入		
		10-1	ニイルの遍歴と思想形成		
		10-2	サマーヒルの挑戦		
		10-3	フリー・スクール運動の世界的な影響		
			自己点検		
第11章	ブーバーの教育的出会い ―教師と子どもとの関係―		導入		
		11-1	教師論		
		11-2	教育的出会いの特徴		
		11-3	教育的出会いの展開		
		11-4	まとめ		
	自己点検				
第12章	イリイチの脱学校論 ―自由な学習機会の保障―		導入		
		12-1	イリイチの思想形成		
		12-2	「隠されたカリキュラム」への批判		
		12-3	脱学校論		
			自己点検		
理解度チェック3					
試 験				○「試験」 レポート試験は6月25日～7月2日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。	
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。	
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。	

科目名	教育制度論	開講単位数
担当講師名	北野 秋男	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は3つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	ガイダンス 教育制度とは？	1	授業のねらい・目的・学修方法など	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月13日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月13日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	授業構成・各回の概要・キーワードの使い方	
		3	教育制度とは？	
第2章	教育の権利と義務	1	導入とキーワード	
		2	教育の「権利」「義務」	
		3-1	「日本国憲法」「教育基本法」の内容①	
		3-2	「日本国憲法」「教育基本法」の内容②	
		4	欧米における「教育の権利思想」	
第3章	近代公教育制度の成立と展開	5	親・教師・国家の教育権	
		1	導入とキーワード	
		2	単線型・複線型・分岐型の学校制度	
		3	欧米の公制度の起源と発展	
		4	日本の公教育制度の起源と発展	
第4章	学校選択制度の実態と賛否	5	戦後の公教育制度「学校教育法」	
		1	導入とキーワード	
		2	学校選択制度とは何か？	
		3	学校選択制度の実態と賛否	
		4	学校選択制度導入の経緯と背景	
		5	学校制度の個性化・自由化	
理解度チェック1				
第5章	学級の運営と経営	1	導入とキーワード	○学修期間 5章～10章 5月14日～5月23日までに学修及び理解度チェック2を受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月23日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		2	学級制度と学習指導	
		3	日本の学校・学級制度	
		4	明治以降の学級制度の歴史	
		5	学級制度と学級機能	
第6章	教師の職務と専門性	1	導入とキーワード	
		2	教師の多忙化と教員改革	
		3	教師の仕事と身分保障	
		4	専門職としての教師像	
		5	教師をめぐる今日的課題	
第7章	学習指導要領と学力観の変遷	1	導入とキーワード	
		2	学力調査の歴史	
		3	戦後の学習指導要領の変遷	
		4	学力観の推移と論争	
		5	新たな学力観の登場	
第8章	教育委員会制度改革の歴史	1	導入とキーワード	
		2	教育委員会制度の歴史	
		3	旧教育委員会制度の組織と理念	
		4	改正教育委員会制度の概要	
		5	教育委員会制度の課題	
第9章	学校・教師と保護者・地域の連携	1	導入とキーワード	
		2	学校・教師と保護者・地域の連携	
		3	モンスター・ペアレント問題	
		4	チームとしての学校・教師	
		5-1	コミュニティ・スクール設置の経緯	
第10章	コミュニティ・スクールの実践事例	1	導入とキーワード	
		2	コミュニティ・スクールの全国的動向	
		3-1	コミュニティ・スクールの実践例①	
		3-2	コミュニティ・スクールの実践例②	
		4	コミュニティ・スクールの課題	
		5	米国の「地域学校委員会」の取り組み	
理解度チェック2				

科目名	教育制度論	開講単位数
担当講師名	北野 秋男	2

※理解度チェック及び試験の提出期限・回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第11章	学力の評価制度	1	導入とキーワード	○学修期間 11章～15章 5月24日～6月24日までに学修及び理解度 チェック3を受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月24日まで です。これを過ぎると解答が できなくなります。
		2	学力の評価制度とは何か？	
		3	テストと学力	
		4	テスト問題作成の方法と課題	
		5	教育評価制度の原理と方法	
第12章	格差社会の現状と背景	1	導入とキーワード	
		2	米国の格差社会の現状と背景	
		3	日本の格差問題の現状と背景	
		4	格差と教育	
		5	格差の回避・解消（教育の取り組み）	
第13章	特別支援教育の制度と理念	1	導入とキーワード	
		2	障害のある子どもの教育	
		3	戦後の障害児の教育制度の歴史	
		4	特別支援教育の実態と課題	
		5	共生社会における教育のあり方	
第14章	学校の事件・事故・災害学校安全への取り組み	1	導入とキーワード	
		2－1	事故や自然災害と安全教育①	
		2－2	事故や自然災害と安全教育②	
		3－1	東日本大震災の教訓①	
		3－2	東日本大震災の教訓②	
		4	学校内の危機管理	
		5	いじめ・不登校・外国人児童への対応	
第15章	社会・教育における課題 授業の総括	1	導入とキーワード	
		2	日本社会の課題	
		3	教育制度のパラダイム転換	
		4	新たな教育制度のあり方を考える	
理解度チェック3				○「試験」 レポート試験は6月25日から7月2日まで が、出 題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくな ります。
試 験				
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	開講単位数
担当講師名	今泉 朝雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、 理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなります ので注意してください。
第1章	特別活動とは何か	1-1	はじめに 本時の概要	○学修期間 1章～4章 4月26日～5月10日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月10日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		1-2	そもそも特別活動とは何か	
		1-3	特別活動の概念を構成する要素1	
		1-4	特別活動の概念を構成する要素2	
		1-5	特別活動の概念を構成する要素3	
		1-6	特別活動を自分で定義にまとめてみよう	
		1-7	求められる特別活動の計画力、指導力	
			自己点検	
第2章	特別活動の教育的意義	2-1	どうして「教科外」活動が必要なのか	
		2-2	教科外活動でどのような資質・能力が身につくか	
		2-3	教科外活動の教育的意義を2つの視点から整理する	
		2-4	教科外活動の機能的特徴 -2つの機能的側面から	
			自己点検	
第3章	特別活動の歴史から特徴を理解する	3-1	戦前期教科外活動から学ぶ ?教科外活動の発生か	
		3-2	戦前期教科外活動から学ぶ ?教科外活動の発生か	
		3-3	戦前期教科外活動から学ぶ ?教科外活動の発生か	
		3-4	戦後における教科外活動の教育課程化①	
		3-5	戦後における教科外活動の教育課程化②	
			自己点検	
第4章	学習指導要領における特別活動の位置づけ	4-1	現行学習指導要領の特徴①	
		4-2	現行学習指導要領の特徴②	
		4-3	学習指導要領における特別活動の目標①	
		4-4	学習指導要領における特別活動の目標②	
		4-5	教育課程における特別活動の位置づけ	
			自己点検	
理解度チェック1				
第5章	学級活動の指導方法	5-1	学級活動とは何か	○学修期間 5章～7章 5月11日～5月24日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月24日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		5-2	学級活動で取り組む内容①	
		5-3	学級活動で取り組む内容②	
		5-4	学級活動の目標と活動のありよう	
		5-5	学級活動における全体計画と指導方法	
			自己点検	
第6章	話し合い活動の指導方法	6-1	話し合い活動の重要性	
		6-2	「話し合い活動」指導上の基本的考え方	
		6-3	話し合い活動の条件を作る①	
		6-4	話し合い活動の条件を作る②	
		6-5	話し合い活動の指導2 ?運営の方法?①	
		6-6	話し合い活動の指導3 ?運営の方法?②	
		6-7	議論の舵取り ?「議論」から「対話」へ?	
		6-8	参加者の態度、メンバーシップの育成	
		6-9	話し合い活動における教師の立場	
			自己点検	
第7章	学校行事の指導方法	7-1	学校行事とは何か	
		7-2	学校行事の目標	
		7-3	学校行事の機能的特徴	
		7-4	教育としての学校行事	
		7-5	事例考察 ?生徒の主体性を生み出す学校行事?①	
		7-6	事例考察 ?生徒の主体性を生み出す学校行事?②	
		7-7	事例考察 ?生徒の主体性を生み出す学校行事?③	
		7-8	本章のまとめ	
			自己点検	
第8章	生徒会活動の指導方法	8-1	生徒会活動とは何か	
		8-2	学習指導要領における生徒会活動の目標と内容	
		8-3	生徒会組織の基本形態からみるその特徴	
		8-4	生徒会活動の自治はどこまで認められるのか①	
		8-5	生徒会活動の自治はどこまで認められるのか②	
		8-6	生徒会活動の自治はどこまで認められるのか③	
			自己点検	
理解度チェック2				

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	開講単位数
担当講師名	今泉 朝雄	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第9章	総合的学習とは何か	9-1	総合的学習の経験を振り返る	○学修期間 8章～10章 5月25日～6月7日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月7日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		9-2	総合的学習とは何か	
		9-3	カリキュラムの類型と「総合学習」誕生の背景	
		9-4	ジョン・デューイの反省的思考と問題解決学習①	
		9-5	ジョン・デューイの反省的思考と問題解決学習②	
		9-6	日本の「総合学習」の歴史と「総合的学習」の誕生①	
		9-7	日本の「総合学習」の歴史と「総合的学習」の誕生②	
			自己点検	
第10章	学習指導要領における総合的学習の位置づけ	10-1	現在の教育政策と総合的学習(第4章の復習)	
		10-2	どのような取り組みを行う活動なのか	
		10-3	どんな資質・能力の育成をめざすのか	
		10-4	各学校において定める目標・内容	
		10-5	これまでの整理(目標・内容等の関係構造)	
		10-6	総合的学習の時間数	
			自己点検	
第11章	総合的学習の全体計画	11-1	主体的、対話的で深い学びと総合的学習	
		11-2	総合的学習における往還的關係	
		11-3	学校ごとの目標設定	
		11-4	どのような探究課題(内容)を選択すべきか①	
		11-5	どのような探究課題(内容)を選択すべきか②	
		11-6	総合的学習の年間指導計画とその類型①	
		11-7	総合的学習の年間指導計画とその類型②	
			自己点検	
第12章	総合的学習の指導方法1	12-1	総合的学習における主体性	
		12-2	総合的学習における「探究」の技法①	
		12-3	総合的学習における「探究」の技法②	
		12-4	総合的学習における「探究」の技法③	
		12-5	「協働」とグループによる学び	
		12-6	体験活動の重視	
		12-7	学外の人々との関わり、外部環境の活用	
			自己点検	
第13章	総合的学習の指導方法2～事例から検討する～	13-1	事例紹介1「企業の商品開発ミッション」の事例①	
		13-2	事例紹介2「企業の商品開発ミッション」の事例②	
		13-3	事例紹介2 私立明星学園中学校「総合探究科」①	
		13-4	事例紹介3 私立明星学園中学校「総合探究科」②	
		13-5	事例紹介4 私立明星学園中学校「総合探究科」③	
		13-6	実践事例の探索方法	
			自己点検	
理解度チェック3				
第14章	特別活動・総合的学習の評価方法	14-1	教育評価の基礎理論①	
		14-2	教育評価の基礎理論②	
		14-3	教育評価の基礎理論③	
		14-4	特別活動の評価方法①	
		14-5	特別活動の評価方法②	
		14-6	総合的学習の評価方法	
			自己点検	
第15章	部活動とその課題	15-1	どうして本科目で部活動を取り上げるのか 部活動と	
		15-2	部活動の教育効果	
		15-3	部活動の歴史からその課題を考える	
		15-4	部活動における様々な課題	
		15-5	部活動問題に対する行政等の動き(2019年まで)	
		15-6	おわりに	
			自己点検	
理解度チェック4				
試 験				○「試験」 レポート試験は6月22日～6月29日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の6月30日～7月3日は全章の復習期間にしてください。

科目名	教育の方法・技術論	開講単位数
担当講師名	壽福 隆人	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号		章名		項番号		項名		受講期間	
		表紙						○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば、何度でも可能ですが、理解度チェック及び試験は解答期限を過ぎると解答ができなくなりますので注意してください。	
第1章		教育方法学とはどんな学問か				導入		○学修期間 1章～3章 4月26日～5月11日までに学修及び理解度チェック1を受けて下さい。 ○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
				1-1		教育方法学			
				1-2		教育方法学の歴史			
				1-3		言語主義批判の系譜			
				1-4		デューイと問題解決学習			
				1-5		ブルーナーと系統学習・構造化論			
				1-6		自己点検			
第2章		わが国の教育方法学研究の歴史				導入		○「理解度チェック1」 解答期限は5月11日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
				2-1		ペスタロッチ主義の紹介			
				2-2		ヘルバルト派教授法の導入			
				2-3		大正期の自由主義的教育方法の展開			
				2-4		ファシズムから戦後の改革へ			
				2-5		自己点検			
第3章		学校教育とカリキュラム				導入			
				3-1		カリキュラムとは何か			
				3-2		教科内容の編成(「リベラル・アーツ」と「一般教育」)			
				3-3		現代のカリキュラムの類型			
				3-4		学習指導要領とカリキュラム			
				3-5		自己点検			
理解度チェック1									
第4章		授業の形態と集団の編成・指導				導入		○学修期間 4章～6章 5月12日～5月25日までに学修した上で理解度チェック2を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック2」 解答期限は5月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
				4-1		授業形態の変遷			
				4-2		ドルトン・プラン			
				4-3		ウイネッカ・プラン			
				4-4		イエナ・プラン			
				4-5		自己点検			
第5章		授業形態の多様化				導入		○「理解度チェック2」 解答期限は5月25日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
				5-1		バズ学習			
				5-2		完全習得学習			
				5-3		オープン・エデュケーション			
				5-4		チーム・ティーチング			
				5-5		自己点検			
第6章		学級編成と学級経営				導入			
				6-1		学級の成立と普及			
				6-2		近代学校における学級の成立			
				6-3		学級経営の進め方			
				6-4		学習・生活指導の場としての学級経営			
				6-5		自己点検			
理解度チェック2									
第7章		小集団指導				導入		○学修期間 7章～9章 5月26日～6月8日までに学修した上で理解度チェック3を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック3」 解答期限は6月8日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
				7-1		小集団指導			
				7-2		小集団の編成方法			
				7-3		個人差に応ずる指導			
				7-4		自己点検			
第8章		教育の技術とはなにか				導入		○「理解度チェック3」 解答期限は6月8日までです。これを過ぎると解答ができなくなります。	
				8-1		教材研究と学習指導案の作成			
				8-2		学習課題の設定と授業の準備			
				8-3		教材研究			
				8-4		学習指導案の作成			
				8-5		自己点検			
第9章		授業の展開				導入			
				9-1		導入の工夫と発問の方法			
				9-2		学習反応の処理			
				9-3		授業をつくるために理解しておきたい教育の基本構造			
				9-4		自己点検			
理解度チェック3									

科目名	教育の方法・技術論	開講単位数
担当講師名	壽福 隆人	2

※理解度チェック及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
第10章	授業の展開を豊かにする物的手段		導入	○学修期間 10章～15章 6月9日～6月22日までに学修した上で理解度チェック4を期間内で受けて下さい。 ○「理解度チェック4」 解答期限は6月22日まで です。これを過ぎると解答ができなくなります。
		10-1	古典的教具	
		10-2	視聴覚教育機器の種類とその利用	
		10-3	ニューメディア	
		10-4	「教育工学」の考え方	
		10-5	自己点検	
第11章	教育評価		導入	
		11-1	教育評価の目的と構成要素	
		11-2	教育評価の歴史的展開	
		11-3	現代の教育評価	
		11-4	自己点検	
第12章	評価の方法		導入	
		12-1	評価法の分類	
		12-2	評価の記録	
		12-3	指導要録と通知表	
		12-4	評価の心理的影響	
		12-5	自己点検	
第13章	ICT教育の現状と課題		導入	
		13-1	ICT教育とは何か	
		13-2	学校のICT教育への取り組み	
		13-3	企業のICT教育への取り組み	
		13-4	ICT教育の今後の課題	
		13-5	自己点検	
第14章	学校のICT教育の取り組み		導入	
		14-1	学校におけるICT教育活用例	
		14-2	ICT利活用推進校における取り組み例	
		14-3	ICT機器を活用した授業実践例	
		14-5	BYODの導入	
		14-6	BYODの導入の課題	
		14-7	自己点検	
第15章	企業のICT教育の取り組み		導入	
		15-1	ICT教育への企業の取り組み(はじまり～第1次整備時代)	
		15-2	第2次～第3次整備時代	
		15-3	第1期教育振興基本計画の時代	
		15-4	教育の情報科ビジョンの時代	
		15-5	平成25年以降の展開と今後の課題	
		15-6	自己点検	
試 験				○「試験」 レポート試験は6月23日～6月30日まで が、出題及び提出期間となっています。これを過ぎると提出できなくなります。
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後の7月1日～3日の間は全章の復習期間にしてください。

科目名	国文学演習Ⅰ～Ⅵ	開講単位数
担当講師名	近藤 健史	1

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			
第1章	はじめに		教員紹介	4/26～7/3 ※グループ討論に入る前に受講してください
		1－1	授業のねらいと構成	
第2章	国文学演習入門		(導入)国文学演習入門	
		2－1	基本の手順について	
		2－2	発表の仕方と心得	
		2－3	レジュメの形式について	
		2－4	資料の探し方(万葉集)	
第3章	万葉集入門		(導入)万葉集入門	
		3－1	万葉集の成立と環境	
		3－2	万葉集の名義	
		3－3	時代区分と主な歌人	
		3－4	万葉集の歌の読み方	
		3－5	基本的な参考文献	
第4章	説話歌入門		(導入)説話歌入門	
		4－1	説話歌の概念と歌数	
		4－2	万葉人の結婚について	
第5章	テーマ1 「妻争伝説歌」ではなぜ結婚を拒否するのかについて		教員による課題提示	※発表は5/4迄 全体討論は5/5～5/10
			発表・全体討論	
第6章	テーマ2 「説話歌の女性は美女か」について		教員による課題提示	※発表は5/11迄 全体討論は5/12～5/17
			発表・全体討論	
第7章	テーマ3 「虫麻呂に歌われた女性像」について		教員による課題提示	※発表は5/18迄 全体討論は5/19～5/24
			発表・全体討論	
第8章	テーマ4 「水江浦島児の歌」における「愚人」の意味について		教員による課題提示	※発表は5/25迄 全体討論は5/26～6/1
			発表・全体討論	
第9章	テーマ5 「真間手児奈伝説歌」における「身をたな知りて」の意味について		教員による課題提示	※発表は6/2迄 全体討論は6/3～6/8
			発表・全体討論	
第10章	テーマ6 説話歌の成立基盤と系譜について (ア)「菟原処女伝説歌」から森鷗外「生田川」へ		教員による課題提示	※発表は6/9迄 全体討論は6/10～6/15
			全体討論	
第11章	テーマ7 説話歌の成立基盤と系譜について (イ)「竹取翁歌」から「竹取物語」へ		教員による課題提示	※発表は6/16迄 全体討論は6/17～6/22
			全体討論	
第12章	テーマ8 説話歌の成立基盤と系譜について (ウ)「水江浦島児の歌」から「浦島物語」へ		教員による課題提示	※発表は6/23迄 全体討論は6/24～6/29
			全体討論	
レポート試験				提出期間:6/30～7/3
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				試験終了後は全章の復習期間としてください。

哲学演習MA メディア授業計画

科目名	哲学演習Ⅰ・Ⅱ	開講単位数
担当講師名	中澤 瞳	2

※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
	表紙			○本講座は4つのパート、15章で構成されています。 また、それぞれのパートには学修期間が設定されています。 ○各章の視聴(復習)はメディア授業開講期間内であれば何度でも可能ですが、課題提出期限を過ぎると解答ができなくなりますので十分注意してください。
第1章	哲学演習MAのねらい	1節	哲学演習MAのねらい	4／26～7／3 ※発表1の課題提出を行うまでに受講してください。
		2節	卒業論文制作の道筋1	
		3節	卒業論文制作の道筋2	
		4節	授業の構成	
		5節	課題	
第2章	論文とはどのような文章表現か	1節	論文とはどのような文章表現か	
		2節	論文とはなにか1	
		3節	論文とはなにか2-1	
		4節	論文とはなにか2-2	
第3章	論文の構成	1節	第2章の確認	
		2節	論文の構成:序論	
		3節	論文の構成:本論	
		4節	論文の構成:結論と注と参考文献表	
		5節	論文執筆に必要なもの:問いだし	
第4章	問題と主張と論拠について	1節	問題について	
		2節	問題の立て方1	
		3節	問題の立て方2	
		4節	問題の立て方3	
		5節	主張について1	
		6節	主張について2	
		7節	論拠について1	
		8節	論拠について2	
第5章	発表1(+相互評価) 問題と主張と論拠を作る	1節	課題説明	
		2節	例1	
		3節	例2	
		4節	例3	
		5節	例4	
		6節	例5	
		7節	例6	
発表1 課題提出期間				5／7～5／14
発表1 相互評価シート提出期間				5／19～5／26
第6章	先行研究を調べる	1節	先行研究の重要性	5／15～7／3 ※発表2の課題提出を行うまでに受講して下さい。
		2節	一次文献と二次文献	
		3節	文献の探し方1	
		4節	文献の探し方2	
第7章	説明を考える	1節	説明の方法・定義について	
		2節	比較について	
		3節	分類について	
		4節	例示について	
		5節	言い換えについて	
		6節	付加・転換について	
第8章	アウトラインを作る	1節	アウトラインをどう作るか1-1	
		2節	アウトラインをどう作るか1-2	
		3節	アウトラインをどう作るか2-1	
		4節	アウトラインをどう作るか2-2	
		5節	アウトラインをどう作るか2-3	
		6節	アウトラインをどう作るか2-4	
		7節	アウトラインをどう作るか3-1	
		8節	アウトラインをどう作るか3-2	
第9章	体裁を整える	1節	注とはなにか1	
		2節	注とはなにか2	
		3節	引用文について	
		4節	引用文への加筆について	
		5節	文献表の作り方1	
		6節	文献表の作り方2	
		7節	文献表の作り方3	
		8節	文章の基本的な作法	
第10章	発表2 参考文献表の作成	1節	課題説明	
発表2 課題提出期間				5／27～6／3

哲学演習MA メディア授業計画

科目名	哲学演習Ⅰ・Ⅱ	開講単位数	※理解度チェック(報告課題)及び試験の解答期限・解答回数は講座により異なりますので、各講座とも「授業計画」の「受講期間」欄にて必ず確認してください。
担当講師名	中澤 瞳	2	

章番号	章名	節番号	節名	受講期間
第11章	パラグラフについて	1節	段落とパラグラフについて1	6／4～7／3 ※発表3の課題提出を行うまでに受講して下さい。
		2節	段落とパラグラフについて2	
		3節	パラグラフの構成1	
		4節	パラグラフの構成2	
		5節	パラグラフの分析	
		6節	読みやすいパラグラフについて考える	
第12章	要約を作る	1節	要約の目的と作り方	
		2節	要約の実践1-1	
		3節	要約の実践1-2	
		4節	要約の実践2-1	
		5節	要約の実践2-2	
第13章	批判的な視点をもつ	1節	批判的な視点の作り方1-1	
		2節	批判的な視点の作り方1-2	
		3節	批判的な視点の作り方2-1	
		4節	批判的な視点の作り方2-2	
		5節	批判的な視点の作り方2-3	
		6節	異論と批判	
第14章	発表3(+相互評価) パラグラフを意識しながら、要約を作る	1節	課題説明	
発表3 課題提出期間				6／8～6／14
発表3 相互評価シート提出期間				6／15～6／24
第15章	最終発表 アウトラインを作る	1節	課題説明	6／15～7／3 ※最終発表の課題提出を行うまでに受講して下さい。
最終発表 課題提出期間				6／25～7／3
受講後アンケート				最終発表提出後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				最終発表提出後は全章の復習期間としてください。

科目名	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	開講単位数
担当講師名	鍋本 由徳	1

章番号	章名	項番号	項名	受講期間
	表紙			
第1章	はじめに		(導入)教員紹介	本講座の、受講期間は4月26日の開講日から7月3日までとなっています。
			(導入)近世文書を読むための基礎知識	
		1-1	授業のねらいと構成	
		1-2	近世文書読解のための基礎知識(1)	
		1-3	近世文書読解のための基礎知識(2)	
		1-4	第1章 自己点検	
第2章	『民間省要』と田中丘隅		(導入)『民間省要』の著者、田中丘隅	そのうち1～4章は[基礎編]として上記受講期間の全ての期間で公開しています。
		2-1	テキスト『民間省要』解題	
		2-2	著者田中丘隅について(1)	
		2-3	著者田中丘隅について(2)	
		2-4	第2章 自己点検	
第3章	元禄～享保期の社会		(導入)元禄～享保期	各章の「発表、全体討論」は課題発表がされた次の日から、教員・受講生 共にコメントを書き込むのに使用します。「読み下しの模範」は、各章の一週間の討論終了後に公開します。
		3-1	享保改革開始時の幕府政治の動向	
		3-2	享保期の経済と流通	
		3-3	農村構造の変容	
		3-4	第3章 自己点検	
第4章	教員によるテキスト読解		(導入)課題報告の際の注意事項	
		4-1	第一「地方の事」	
第5章	テキストを読む(1) (災害記事・「色取検見」に留意しつつ)		(導入)「検見」	全期間中公開
			全体討論	※Aグループ 5/6迄に発表 5/7から全体討論開始
			第5章読み下しの模範	5/13公開
第6章	テキストを読む(2) (年貢米上納の手続と農民負担に留意しつつ)		(導入)年貢米の納入	全期間中公開
			全体討論	※Bグループ 5/13迄に発表 5/14から全体討論開始
			第6章読み下しの模範	5/20公開
第7章	テキストを読む(3) (収穫までの手間・費用と田地賃入値段に留意しつつ)		(導入)田地売買	全期間中公開
			発表・全体討論	※Cグループ 5/20迄に発表 5/21から全体討論開始
			第7章読み下しの模範	5/27公開
第8章	テキストを読む(4) (収穫までの手間・費用に留意しつつ)		(導入)肥料や生産用具	全期間中公開
			発表・全体討論	※Dグループ 5/27迄に発表 5/28から全体討論開始
			第8章読み下しの模範	6/3公開
第9章	テキストを読む(5) (「検見」、江戸時代の貨幣制度に留意しつつ)		(導入)検見の手順	全期間中公開
			発表・全体討論	※Aグループ 6/3迄に発表 6/4から全体討論開始
			第9章読み下しの模範	6/10公開
第10章	テキストを読む(6) (農作業のサイクル、「金納」・「小物成」に留意しつつ)		(導入)年貢早納、小物成	全期間中公開
			発表・全体討論	※Bグループ 6/10迄に発表 6/11から全体討論開始
			第10章読み下しの模範	6/17公開
第11章	テキストを読む(7) (「定免制」に留意しつつ)		(導入)定免制	全期間中公開
			発表・全体討論	※Cグループ 6/17迄に発表 6/18から全体討論開始
			第11章読み下しの模範	6/24公開
第12章	テキストを読む(8) (地主-小作関係の生成と展開に留意しつつ)		(導入)小作	全期間中公開
			発表・全体討論	※Dグループ 6/24迄に発表 6/25から全体討論開始
			第12章読み下しの模範	7/1公開
受講後アンケート				試験終了後～7月3日がアンケート回答期間になります。
復習期間				※試験終了後は復習期間です。教員の総括を確認してください。

演習受講イメージ（例：Aグループ）

